

平成31年度

熊野市当初予算資料

熊野市市長公室

## 平成31年度熊野市当初予算資料目次

1 平成31年度当初予算について(総括)	1 ~ 13
2 「熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて実施する事業(総括表)	14
3 熊野古道世界遺産登録15周年記念事業	15 ~ 16
4 特色ある新規事業	17 ~ 26
5 増額した継続事業	27 ~ 35
6 平成31年度一般会計当初予算の主な内容	36 ~ 77
7 平成31年度地域まちづくり協働事業一覧表	78 ~ 81

平成31年度 当初予算会計別総括表

単位:千円、%

区 分		平成31年度	平成30年度	増 減	対前年度比
一般会計当初予算額		12,406,619	12,453,305	46,686	0.4
特別会計		3,291,811	3,323,948	32,137	1.0
特別 会 計 内 訳	国民健康保険事業	2,514,343	2,542,694	28,351	1.1
	後期高齢者医療事業	578,538	581,237	2,699	0.5
	青年の家事業	6,099	6,084	15	0.2
	市有林整備事業	38,690	38,476	214	0.6
	紀和診療所事業	104,572	102,357	2,215	2.2
	紀和地区水道事業	49,569	53,100	3,531	6.6
水道事業会計		616,023	659,439	43,416	6.6
合計 ( + + )		16,314,453	16,436,692	122,239	0.7

## 一般会計歳出予算の状況

(単位：千円、%)

区 分	3 1 年度当初 A	3 0 年度当初 B	比 較		構成比	
			増減額 A - B	増減率 A / B		
1 義務的経費	5,496,824	5,586,974	90,150	1.6	44.3	
内 訳	人件費	2,532,240	2,604,313	72,073	2.8	20.4
	扶助費	1,447,274	1,479,996	32,722	2.2	11.7
	公債費	1,517,310	1,502,665	14,645	1.0	12.2
2 普通建設事業費	1,948,270	1,954,049	5,779	0.3	15.7	
内 訳	補助事業	1,048,742	803,425	245,317	30.5	8.5
	単独事業	899,528	1,150,624	251,096	21.8	7.2
3 災害復旧費	58,000	58,000	0	0.0	0.5	
4 その他経費	4,903,525	4,854,282	49,243	1.0	39.5	
合 計	12,406,619	12,453,305	46,686	0.4	100.0	

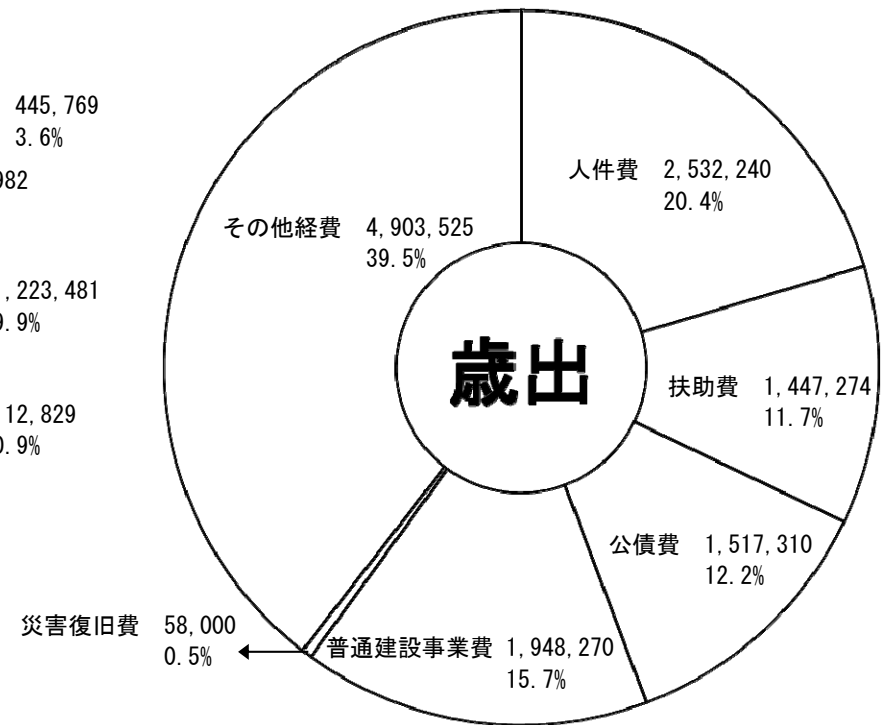
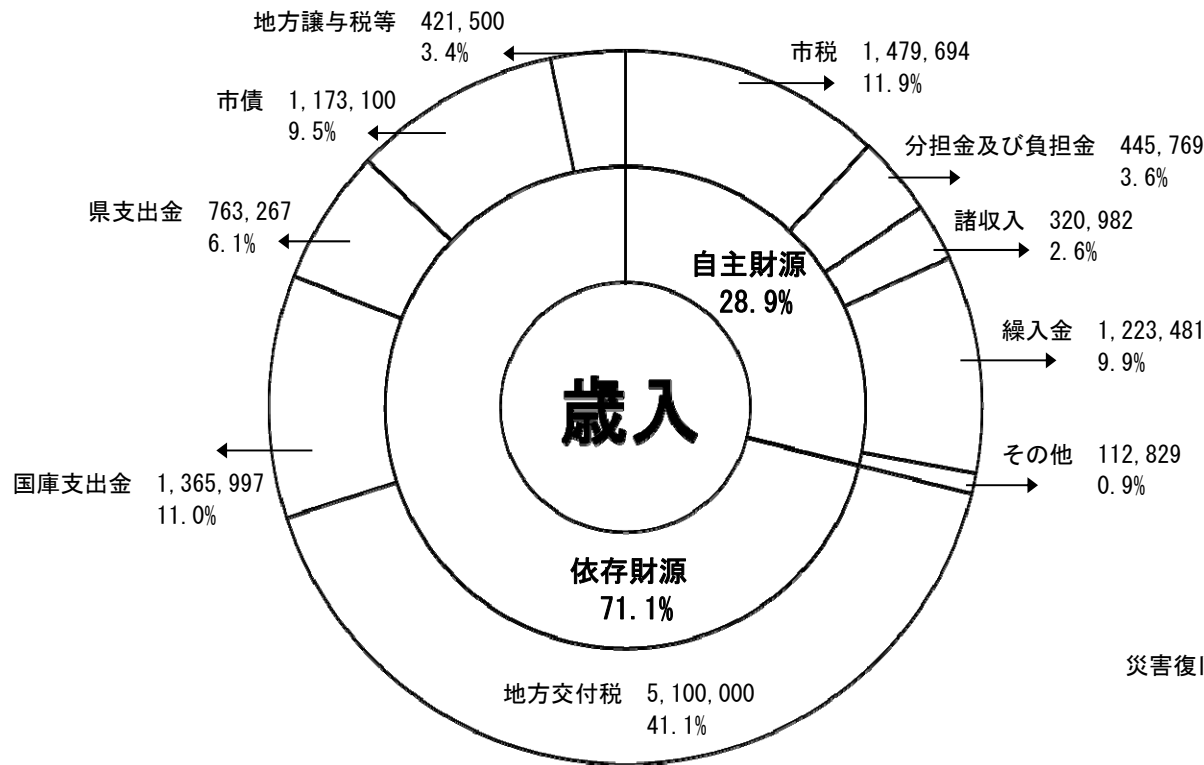
## 一般会計歳入予算の状況

(単位：千円、%)

区 分	3 1 年度当初 A	3 0 年度当初 B	比 較		構成比
			増減額 A - B	増減率 A / B	
市税	1,479,694	1,511,617	31,923	2.1	11.9
地方譲与税等	421,500	393,000	28,500	7.3	3.4
地方交付税	5,100,000	5,100,000	0	0.0	41.1
分担金及び負担金	445,769	437,218	8,551	2.0	3.6
使用料及び手数料	90,443	89,934	509	0.6	0.7
国庫支出金	1,365,997	1,223,033	142,964	11.7	11.0
県支出金	763,267	766,789	3,522	0.5	6.1
財産収入	14,700	15,189	489	3.2	0.1
寄附金	2,686	2,400	286	11.9	0.0
繰入金	1,223,481	1,290,331	66,850	5.2	9.9
繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.1
諸収入	320,982	339,094	18,112	5.3	2.6
市債	1,173,100	1,279,700	106,600	8.3	9.5
合 計	12,406,619	12,453,305	46,686	0.4	100.0

一般会計歳入予算総額 12,406,619千円

一般会計歳出予算総額 12,406,619千円



# 平成31年度予算(一般会計)について

## ～熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく様々な取り組みの加速～

### 1. 予算の概要

平成31年度は第2次熊野市総合計画の2年目であり、活力再生に向けての様々な取り組みを加速させる年と位置づけ、(1)地方創生の取り組みについては、産業振興・集客交流・移住の推進・子育て支援・新たな担い手の創出の各分野において、「熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各施策を加速させるため、新たな事業に積極的に取り組むとともに、質の向上にも取り組みます。

まず、

人口流出抑制対策として、「輸出と集客」により多くの働く場が創出され、活力ある地域経済がにぎわいを生む「雇用を創出するための産業振興」を基本とし、熊野古道世界遺産登録15周年を記念した新たな集客への取り組みのほか、よりきめ細かな事業者支援、企業誘致の更なる推進にも積極的に取り組みます。

人口流入増加対策としては、地域との連携をより密接にし、移住促進に取り組むとともに、地域資源を活用しながら、「住みたくなるまち」かつ「住み続けたいまち」を目指す定住施策を実施していきます。

人口増加対策として、小・中学校においてICT教育を新たに実施し、子どもたちのICT活用能力の育成やより深い学び、グローバル化への対応を通じて、未来を生きる力を育みます。また、「こどもは宝・未来への希望基金事業」をはじめとする県下でもトップレベルの子育て支援施策を継続するなど、安心して子どもを産み育てることができ、子どもたちが豊かな自然・歴史・文化の中で心身ともに健やかに育つ環境を整えます。

また、まちづくりにおける新たな担い手の創出として、

女性や若者が様々な分野で担い手となれるよう取り組むほか、高齢者については、ひとりひとりが長年にわ

たり培ってきた知識・経験・能力・技術を活かして、地域社会の様々な分野に参画・活躍できるように施策を実施していきます。

外部人材、UIターン者の積極的な受入を進めます。

地方創生においては、多くの市町村との人口減少対策での競争激化が見込まれることから、特にこれまで力を入れてきた若者定住に向けての働く場の創出に向けた産業振興の取り組みを、これまで以上に強力で押し進めるものとしします。

(2) 健康・長寿の推進については、より支援が必要な方へのきめ細かな支援やより多くの方が健康づくりに取り組んでいただくことを念頭に、新たな施策を実施します。また、人と人との「絆」によって、共に支え合い、高め合う地域共生社会の考えに基づき、地域福祉の充実を図っていきます。

(3) 市民が安心して生活できるようにするため、また、大規模災害を全市民が生き抜くために、発災後の防災対策に力を入れます。各種生活環境のハード整備については、保有する施設全体の状況を踏まえ、施設の効率的で適正な配置を進めるため、既存施設の改修や長寿命化、除却に力を入れていきます。

これらの重要課題に加え、市政の全ての分野における諸課題に的確に対処していくため、当初予算としては総額124億661万9千円の予算編成をしており、市の人口規模からみて、前年度に引き続き、非常に積極的で大型の予算編成にしております。

#### (1) 前年度予算に引き続いての大型積極予算

平成31年度予算は、「熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、熊野古道世界遺産登録15周年記念事業を中心とした集客交流・産業振興の各施策やICT教育実施事業による学校教育の充実、子育て支援・高齢者福祉・防災対策・生活環境の整備という7点を着実に実施する予算編成を行い、本市の目指すべき将来像「豊かな自然と歴史の中で人がかがやく、活



力と潤いのあるまち・熊野」の実現にむけ、全力を挙げて取り組みます。

市民の視点・感覚に立った市民本位の行政運営を基本とし、経常的な経費を厳しく見直すとともに、適正な財源を確保するなど行財政改革の更なる推進に努めます。活動基準原価計算(ABC分析)の実施結果を活用し、職員一人ひとりが業務の効率化、コスト削減を十分に考慮し、前例にとらわれず積極的に事業を見直し、新しい発想でアイデアを生み出し、創意工夫を図ります。

このように編成を行った平成31年度一般会計当初予算は総額124億661万9千円で、前年度に引き続き大型の積極予算となります。同程度の人口規模の市と比較しても、約1割増となる大型の予算です。(参考:全国の人口1万7千人前後の7市の平成30年度当初予算額の平均は約113億円です。)

新市誕生後は、平成18年度107億5,037万円、平成19年度112億4,738万9千円、平成20年度114億7,722万3千円、平成21年度117億4,484万7千円、平成22年度120億7,701万9千円、平成23年度121億2,718万9千円、平成24年度141億3,844万9千円(災害復旧費を除いた額123億4,634万8千円)、平成25年度127億2,829万9千円、平成26年度130億5,808万円、平成27年度127億1,164万8千円、平成28年度128億3,005万8千円、平成29年度126億5,288万6千円、平成30年度124億5,330万5千円と毎年度連続して大型予算を編成しています。

## (2)平成31年度の主な事業

産業の振興 「地域資源をいかした、独創性のある産業が発展するまち」

集客・交流では、熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、各種のPR事業や観光客の利便性確保対策、ウォーキングイベントや記念花火の打ち上げにより、都市部・外国からの、市内への積極的な集客を図ります。また、観光案内や体験・ツアーなどの旅行商品の販売を行い、熊野大花火に関する展示や市の観光情報の提供、観光客のおもてなし機能(小休憩所)を備

えた「駅前観光拠点施設」の新築工事を行います。スポーツによる集客については、中学生を中心に女子ソフトボールチームを設立して、「ソフトボールの聖地 熊野」の知名度向上を目指すほか、前年度に引き続き、ソフトボールをはじめ野球、ラグビー、ソフトテニス、柔道、サイクルなど各種大会・合宿の一層の誘致拡大を行うほか、マリンスポーツやクライミング、トレイルランニングレースなどのアウトドアスポーツの更なる拡大・振興に取り組めます。

農業では、産地化につながりつつある唐辛子について、生産部門と販売部門の両方から積極的な取り組みを行う「地域農業活性化推進事業」や新規作物としての有用性の実証を行う「ゴマ産地化事業」を新たに実施するほか、新たな担い手の育成や農産物の生産・加工・販売・耕作放棄地解消等に引き続き取り組めます。

林業では、市内山林の地形や樹種、材積等を把握し、境界確認や森林整備の実施につなげていく「森林資源データ解析事業」や観光客が訪れるような名所をつくる「クマノザクラの名所づくり事業」を行うほか、地元産材の利用拡大・輸出の推進や森林整備などに引き続き取り組めます。

水産業では、魚のすり身「熊野すりみん」の販路拡大に新たに取り組むほか、漁業者の新たな収入源となる漁業の調査、後継者の育成及び遊木漁港等の基盤整備などを引き続き行います。

商工業では、消費税10%実施に合わせ市内事業所への導入を支援する「キャッシュレス化推進事業」や市内での流通拡大を図る「熊野産本マグロPR事業」、『那智黒石のまち熊野』をPRする「那智黒石モニュメント設置事業」、新たな働く場の創出を図る「テレワーク推進事業」に新たに取り組めます。また、若者・女性等の創業や市内の事業所への優秀な人材の確保にも引き続き積極的に取り組めます。

保健・医療・福祉の充実 「絆」をもとに支え合い助け合う、健やかに暮らせるまち」

子育て支援として、「産み育てたい」という願いをかなえ、子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育て

のできる環境を整える「こどもは宝・未来への希望基金事業」を継続するほか、市立保育所の保育士に対する研修を増やす「保育の質の向上事業」に新たに取り組むほか、民間保育園・幼稚園・小規模保育所・学童クラブ等への支援についても引き続き積極的に行います。母と子の健康づくりのための施策については、「産前・産後サポート事業」により、妊産婦が抱える妊娠や子育てに関する悩み等について、相談支援を行うとともに、保健福祉センター内に「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うなど、更に拡大します。また、「こども発達支援事業」等により、支援を要する子どもに対する途切れの無い支援にも、引き続き力を入れます。結婚を希望する独身の男女を引き合わせる婚活サポーターの活動への支援なども引き続き実施して、結婚を望む独身者を応援していきます。

高齢者福祉では、認知症の人とその家族に対する「認知症総合支援事業」を拡大して、必要な支援に結びついていない認知症高齢者の個別支援や見守り体制の強化を図るほか、生活支援サポーターが日常生活で援助を必要とする高齢者を支援することで、いきがづくりと地域での支え合いの仕組みを作る「生活支援サポート事業」に引き続き取り組みます。また、高齢者の生きがいと社会参加を促進する「高齢者サロン事業」、介護予防を目的とした健康体操の普及、一人暮らし高齢者世帯等の見守りの強化・推進にも引き続き力を入れていきます。

健康づくりでは、健康づくり事業への意識を高め、健康づくりに取り組まれる方をできる限り増やすため、「健康増進ポイント事業」を拡大して、体験イベントの実施や、子どもへの健康増進ポイントの発行、新たな参加者の紹介とサポートを促進する取り組みを行います。また、がん検診の受診の推進、骨粗しょう症や成人歯科保健対策、糖尿病の重症化予防等に引き続き積極的に取り組みます。

医療体制では、新たに神川へき地診療所・育生へき地出張診療所・五郷診療所への電子カルテの導入や、高規格救急車・あすか救護センター車両の更新を行うほか、救急救命士の養成・実習事業を引き続き実施し、救急医療体制の充実も図ります。

教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

学校教育では、「ICT教育実施事業」により、小・中学校にICT機器等を導入し、これらを適切かつ効果的に活用することで、実践的なICT活用能力の育成や情報モラル教育の充実を行うとともに、子どもたちの学ぶ意欲の向上、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の実現、グローバル化に対応した人材の育成など、生きる力を育む教育の実現を図ります。また、学力の向上、心の教育の推進、いじめの防止、コミュニティ・スクールの推進等にも積極的に取り組みます。

文化芸術では、赤木城の階段・看板等の補修・修繕を行う「赤木城周辺整備事業」を新たに実施します。また、文化交流センター、図書館、市民会館、鉾山資料館における企画事業等に引き続き取り組むほか、図書館情報管理システムの更新、市民会館の改修事業を行い、安心・快適に施設を利用できるようにします。

生涯スポーツでは、2021年に開催される国民体育大会の準備や陸上競技場のキュービクルの更新、照明設備の改修を実施します。

生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

防災では、「災害情報伝達手段検討事業」、「井戸小学校避難所運営マニュアル作成事業」などを新たに実施し、防災意識の啓発や災害時の要援護者避難対策なども引き続き行います。

公園では、防災公園の整備を行うとともに、山崎運動公園の長寿命化対策事業を実施します。

道路では、生活に密着した道路の側溝や舗装修繕を実施する「側溝・舗装修繕事業」、橋梁の長寿命化等に引き続き取り組みます。

交通体系の整備では、自主運行バスと市街地・紀和町・海岸部・神川町・育生町における交通弱者の不安解消を図るため

乗合タクシーを引き続き運行するとともに、五郷町・飛鳥町での公共交通空白地有償運送への支援を行います。

### 「まちづくりの進め方」

市の定型業務の効率化を目指す「RPA導入検討事業」、近隣自治体との住民情報システムの共同化を目指す「自治体クラウド推進事業」に新たに取り組めます。また、都市部からの移住、市内への定住を促進するため、情報発信や空き家の活用に引き続き積極的に取り組めます。地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により、防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めるため、「あいさつ運動推進事業」にも引き続き積極的に取り組めます。また、市役所の研修事業を拡充して、市民に信頼される職員を育成します。

## 2. 歳出予算の特徴

### (1) 義務的経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)については、対前年度比9,015万円、1.6%減の54億9,682万4千円となっており、予算全体の44.3%を占めています。

人件費につきましては、定年退職予定者の減により職員退職手当が6,970万6千円の減額となるなどの影響により、7,207万3千円の減となっています。

扶助費につきましては、児童手当の減等により、3,272万2千円の減となっています。

公債費につきましては、市債の償還元金が2,471万3千円の増となること等により、1,464万5千円の増の15億1,731万円となります。

## (2) 普通建設事業費

普通建設事業費については、新規事業では、「ICT教育実施事業」、「保健福祉センター空調設備改修事業」など、継続事業では、「駅前観光拠点施設整備事業」、「側溝・舗装修繕事業」、「遊木漁港機能強化事業」などを予算化しています。

トータルでは、19億4,827万円(前年度比577万9千円減、0.3%減)となっています。

なお、国の補正予算を活用し、平成30年度の最終補正予算によって31年度から前倒しして実施する予定の額2億3,000万円(小・中学校空調設備整備事業)を加えるとトータルで21億7,827万円となります。

## (3) その他経費

義務的経費及び投資的経費を除くその他経費については、企業立地促進雇用創出事業などが減となる一方、森林資源データ解析事業などの増により、トータルでは4,924万3千円の増となっています。

## 3. 歳入予算の特徴

### (1) 市税

市税については、個人市民税の納税義務者や所得割の減などにより、総額で14億7,969万4千円、対前年度比3,192万3千円、2.1%の減となっています。

### (2) 地方交付税

地方交付税については、国の地方財政計画においては16兆1,809億円、対前年度比1,724億円、1.1%増となっていますが、市においては、平成28年度から合併による優遇措置(合併算定替)が終了し、5年間の激変緩和期間に入ったことによる減、及び過去の交付実績を参考に普通交付税、特別交付税とも、前年度と同額としています。

その結果、地方交付税は51億円、前年度と同額となっています。

### (3) 市債

建設事業や災害復旧事業などに対しては、9億2,310万円、対前年度比5,660万円、5.8%の減となっております。地方交付税と同様に一般財源として取り扱われる臨時財政対策債については、2億5,000万円、対前年度比5,000万円、16.7%の減としており、市債総額では、11億7,310万円、対前年度比1億660万円、8.3%の減となっています。

事業別の分類では、合併特例事業債2億2,770万円、過疎対策事業債6億5,290万円、臨時財政対策債2億5,000万円、その他4,250万円となっています。

この結果、平成31年度末の市債残高見込額は132億3,652万1千円となっています。なお、合併特例事業債などは元利償還の際に交付税措置がされることから、実質的市債残高は約33億円となっております。

### (4) 財政調整基金繰入金

財政調整基金から9億6,929万8千円を、財源不足解消のため繰り入れします。

この結果、平成31年度末財政調整基金の残高見込額は19億4,778万円となっています。なお、減債基金、地域振興基金などを加え、こどもは宝・未来への希望基金、地方創生雇用創出基金を除いた実質的な基金総額では45億2,837万4千円となっています。

## 2 熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいて実施する事業(総括表)

(単位:千円)

事業名	31年度予算	30年度予算	増減額	事業内容
基本施策1 人口流出抑制対策(農林水産業の振興、商工業の振興、観光及びスポーツによる集客交流)				
【新規事業】熊野古道世界遺産登録15周年記念事業	24,645		24,645	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、各種のPR事業や観光客の利便性確保対策、ウォーキングイベントや記念花火の打ち上げなどを行います。(15事業)
その他の事業	369,836	383,024	13,188	83事業
基本施策1の合計	394,481	383,024	11,457	78事業 98事業
基本施策2 人口流入増加対策(移住体験・交流の推進)				
基本施策2の合計	8,457	8,032	425	1事業 1事業
基本施策3 人口増加対策(少子化対策、子育て支援)				
【新規事業】ICT教育実施事業	254,664		254,664	小・中学校にタブレットPC等を導入し、ICT機器を適切かつ効果的に活用することで、実践的なICT活用能力の育成や、情報モラル教育の充実などを行うとともに、子どもたちの学ぶ意欲の向上、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の実現、グローバル化に対応した人材の育成など、生きる力を育む教育の実現を図ります。また、教職員が使用する校務用PCについても、Windows7のサポートが終了することから一体的に更新を行います。さらにネットワーク環境についても、普通教室の無線LAN化や、校務系と教育系ネットワークのさらなるセキュリティ強化を併せて行います。
こどもは宝・未来への希望基金事業	108,594	119,761	11,167	11事業
その他の事業	59,968	57,092	2,876	37事業
基本施策3の合計	423,226	176,853	246,373	46事業 49事業
基本施策4 女性及び元気な高齢者の活躍(経済面における女性の活躍、まちづくりにおける女性や元気な高齢者の活躍)				
基本施策4の合計	31,413	22,424	8,989	10事業 11事業
基本施策5 外部人材、IJUターン者の積極的な受入など(外部人材、IJUターン者等の受入や若者の定着)				
基本施策5の合計	58,003	57,919	84	11事業 11事業
合計	915,580	648,252	267,328	146事業 170事業



### 3 熊野古道世界遺産登録15周年記念事業

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
1	熊野古道世界遺産登録15周年記念メディア広告事業	8,615	市長公室	熊野古道を中心に、熊野市の特産品、自然や歴史、文化、イベントなどを紹介することで、熊野市の魅力を市外・県外にPRします。
2	熊野古道15周年記念PR動画作成事業	1,156	観光スポーツ交流課	これまでにない若い層にアピールするため、インフルエンサーを起用して、熊野古道の魅力を紹介する動画の作成を行い、情報発信を行います。
3	パブリシティ推進事業	396	観光スポーツ交流課	プレスリリース配信会社に熊野市や熊野古道のイベント等を情報提供をすることで、様々な媒体のメディアに取り上げられる可能性を向上させ、熊野市や熊野古道のPRを行います。
4	熊野市絶景フォトラリー事業	656	観光スポーツ交流課	一定のキャンペーン期間内に熊野古道周辺など市内の観光スポットで撮影された絶景を、拡散性が高いインスタグラムに投稿してもらい、抽選で熊野市の特産品を記念品として贈呈します。市からのみではなく、市民や観光客にも情報発信に参加してもらい、集客を図るとともに新たな観光資源の掘り起こしを図ります。
5	デジタルプロモーション事業	674	観光スポーツ交流課	熊野古道を中心としたPR動画(体験プラン、観光地案内、まち歩き等)を新たに作成し、旅行に関心の高い層にターゲットを絞って、YouTubeに動画広告を配信します。
6	熊野市自主運行バス インバウンド対策化事業	2,165	市長公室	海外観光客の受入れに対応するため、バス車内での英語による音声案内やバス停表示、各バス停の番号表示や路線ごとの色分けなどを実施します。
7	熊野古道客に対する2次交通運行実証事業	950	市長公室	世界遺産登録15周年に合わせて、市街地周辺(花の窟、獅子岩、熊野古道)への2次交通運行の実証を行います。海外観光客や日本人観光客が熊野古道をはじめとする世界遺産を訪れるための手段を確立することで、更なる誘客を図ります。
8	熊野古道世界遺産登録15周年記念ウォーキング実施事業	300	観光スポーツ交流課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、三重県が指定する熊野古道ウィークに、熊野古道を歩くウォーキングイベントを開催し、PRと集客を図ります。
9	丸山千枚田虫おくり 熊野古道世界遺産登録15周年記念花火打上事業	500	地域振興課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、6月の丸山千枚田虫おくりにおいて、記念花火を打ち上げます。
10	熊野大花火大会 熊野古道世界遺産登録15周年記念花火打上事業	5,000	観光スポーツ交流課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、8月の熊野大花火大会において、記念花火を打ち上げます。
11	観光物産展 出展事業	1,005	観光スポーツ交流課	観光物産展に参加し、国内外から来る個人、企業、プレス等に対して、世界遺産登録15周年を迎える熊野古道を中心に熊野市の観光PRを行います。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
12	熊野産本マグロPR事業	2,801	水産・商工振興課	熊野産本マグロの美味しさを知ってもらうことで、消費者のニーズを高め、市内での流通を拡大させます。新しい熊野の食文化として定着を図り、商業の活性化につなげていきます。
13	きのもと商い支援事業(記念イベント経費分)	300	水産・商工振興課	商店街が共同で実施するイベント(古道通り夜市、熊野きのもとさんま祭り、熊野街道ひなめぐり)で、熊野古道世界遺産登録15周年記念のイベントを行う際の費用を支援します。
14	歩き楽しむ記念通り商店街実現支援事業(魅力UP事業分)	97	水産・商工振興課	記念通り商店街振興組合が実施する歩行者天国での「いこらい市」開催の際、熊野古道世界遺産登録15周年記念として、いこらい市の魅力アップを行う費用を支援します。
15	歴史民俗資料館子ども歴史教室事業	30	教育委員会	市内の小・中学生を対象に、熊野古道と熊野市にある多くの史跡や文化財など歴史・文化の学習を行い、郷土の文化を大切にする意識を涵養するとともに、ふるさと熊野に誇りを持ってもらいます。
合計 15事業		24,645		

## 4 特色ある新規事業

※番号の下に「(地創)」の表示がある事業は「熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて実施する事業です。

※熊野古道世界遺産登録15周年記念事業については、P15～16の内容を再掲しております。

※「平成」については、平成31年4月までですが、その翌月以降についても現時点で新元号が未公表のため、「平成」と表記しています。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
<b>①産業の振興</b>				
<b>「地域資源をいかした、独創性のある産業が発展するまち」</b>				
1 集客交流				
1 (地創)	熊野古道世界遺産登録15周年記念メディア広告事業	8,615	市長公室	熊野古道を中心に、熊野市の特産品、自然や歴史、文化、イベントなどを紹介することで、熊野市の魅力を市外・県外にPRします。
2 (地創)	熊野古道15周年記念PR動画作成事業	1,156	観光スポーツ交流課	これまでにない若い層にアピールするため、インフルエンサーを起用して、熊野古道の魅力を紹介する動画の作成を行い、情報発信を行います。
3 (地創)	パブリシティ推進事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	396	観光スポーツ交流課	プレスリリース配信会社に熊野市や熊野古道のイベント等を情報提供をすることで、様々な媒体のメディアに取り上げられる可能性を向上させ、熊野市や熊野古道のPRを行います。
4 (地創)	熊野市絶景フォトラリー事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	656	観光スポーツ交流課	一定のキャンペーン期間内に熊野古道周辺など市内の観光スポットで撮影された絶景を、拡散性が高いInstagramに投稿してもらい、抽選で熊野市の特産品を記念品として贈呈します。市からのみではなく、市民や観光客にも情報発信に参加してもらい、集客を図るとともに新たな観光資源の掘り起こしを図ります。
5 (地創)	デジタルプロモーション事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	674	観光スポーツ交流課	熊野古道を中心としたPR動画(体験プラン、観光地案内、まち歩き等)を新たに作成し、旅行に関心の高い層にターゲットを絞って、YouTubeに動画広告を配信します。
6 (地創)	くまの星空絶景ガイドマップ作成事業	242	観光スポーツ交流課	熊野市近郊は世界的に天文観測が盛んなハワイの夜空とほぼ同じ暗さであることから、「星空」という観光資源を生かし誘客するための絶景の星空を撮影できるスポットを紹介するガイドマップを作成し、PRします。
7 (地創)	熊野市観光案内強化事業	23	観光スポーツ交流課	観光集客施設ごとに観光地までのルートや観光スポットの詳しい説明を記載したパンフレットを作成し、観光客の利便性向上を図ります。
8 (地創)	観光マーケティング事業	1,080	観光スポーツ交流課	SNS投稿や携帯電話の位置情報を利用して、熊野市を訪れた観光客や熊野市に興味を持つ人の動向を調査し、今後の観光政策の基礎とします。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
9 (地創)	熊野市自主運行バス インバウンド対策化事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	2,165	市長公室	海外観光客の受入れに対応するため、バス車内での英語による音声案内やバス停表示、各バス停の番号表示や路線ごとの色分けなどを実施します。
10 (地創)	熊野古道客に対する2次交通運行実証事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	950	市長公室	世界遺産登録15周年に合わせて、市街地周辺(花の窟、獅子岩、熊野古道)への2次交通運行の実証を行います。海外観光客や日本人観光客が熊野古道をはじめとする世界遺産を訪れるための手段を確立することで、更なる誘客を図ります。
11 (地創)	熊野古道世界遺産登録15周年記念ウォーキング実施事業	300	観光スポーツ交流課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、三重県が指定する熊野古道ウィークに、熊野古道を歩くウォーキングイベントを開催し、PRと集客を図ります。
12 (地創)	丸山千枚田虫おくり 熊野古道世界遺産登録15周年記念花火打上事業	500	地域振興課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、6月の丸山千枚田虫おくりにおいて、記念花火を打ち上げます。
13 (地創)	熊野大花火大会 熊野古道世界遺産登録15周年記念花火打上事業	5,000	観光スポーツ交流課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、8月の熊野大花火大会において、記念花火を打ち上げます。
14 (地創)	観光物産展出展事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	1,005	観光スポーツ交流課	観光物産展に参加し、国内外から来る個人、企業、プレス等に対して、世界遺産登録15周年を迎える熊野古道を中心に熊野市の観光PRを行います。
15 (地創)	クマノザクラの郷めぐり事業	527	地域振興課	平成30年に紀伊半島南部で発見された新種の桜「クマノザクラ」が、多く自生している地としての魅力を向上するため、散策マップ等を制作し、案内できるようにします。
16 (地創)	日本女子ソフトボールリーグ開催事業	933	観光スポーツ交流課	日本女子ソフトボールリーグ2部の公式戦を開催し、集客効果を生み出します。
17 (地創)	地域おこし協力隊 ソフトボール振興事業	3,987	観光スポーツ交流課	ソフトボールに精通した地域おこし協力隊を配置し、中学生を中心に女子ソフトボールチームを設立して競技人口を増やすとともに、「ソフトボールの聖地 熊野」の知名度向上を目指します。
18 (地創)	ホストタウン交流推進事業	3,016	観光スポーツ交流課	熊野市は東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されました。それを受けて、台湾とのソフトボールを通じた交流を推進します。
<b>2 商工業</b>				
19 (地創)	那智黒石モニュメント設置事業	5,500	水産・商工振興課	市内公共施設等に那智黒石のモニュメントを設置し、『那智黒石のまち熊野』を市内外にPRします。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
20 (地創)	キャッシュレス化推進事業	308	水産・商工振興課	市内事業所に対してキャッシュレス対応の方法や種類、トレンドについてセミナーを行い、事業所の導入を支援します。また、市民の利便性向上を検討するため、先進地の視察を行います。
21 (地創)	熊野産本マグロPR事業	2,801	水産・商工振興課	熊野産本マグロの美味しさを知ってもらうことで、消費者のニーズを高め、市内での流通を拡大させます。新しい熊野の食文化として定着を図り、商業の活性化につなげていきます。
22 (地創)	きのもと商い支援事業(記念イベント経費分)(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	300	水産・商工振興課	商店街が共同で実施するイベント(古道通り夜市、熊野きのもとさんま祭り、熊野街道ひなめぐり)で、熊野古道世界遺産登録15周年記念のイベントを行う際の費用を支援します。
23 (地創)	歩き楽しむ記念通り商店街実現支援事業(魅力UP事業分)(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	97	水産・商工振興課	記念通り商店街振興組合が実施する歩行者天国での「いこらい市」開催の際、熊野古道世界遺産登録15周年記念として、いこらい市の魅力アップを行う費用を支援します。
24 (地創)	テレワーク推進事業	4,182	水産・商工振興課	テレワークとして請負うことができる業務のマネジメント等を行える人材を確保し、市内での新たな働く場を創出するとともに、ICTやIoTの導入を促進することで既存事業者の業務効率化や生産性の向上につなげていきます。
<b>3 農業</b>				
25 (地創)	特産品振興・販売拡大事業	12,441	農業振興課・地域振興課	市の特産品を振興し、販売拡大を図るため、 ①地域産品販売促進事業(3,837千円) 集落支援員制度を活用し、みかん、たかな、唐辛子、新姫、熊野地鶏、サンマなどの地域特産品の需要を開拓するとともに、営業・販売活動を強化します。 ②山間部農産物販売促進事業(2,624千円) 高齢により市場出荷できない農業者を対象に野菜等の集出荷を支援し、道の駅などを活用した直接販売を実施します。 ③農産物特産品化事業(新規)(2,409千円) 集落支援員制度を活用し、新規作物としてのゴマの有用性の実証を行います。 ④営業拠点販売実証事業(3,571千円) 集落支援員制度を活用し、当地域の柑橘等の農作物を中心にニーズの高い商品を、関西圏の新興住宅街等に自ら持ち込み販売を行います。
26 (地創)	ゴマ産地化事業	85	農業振興課	市内でゴマ生産者を募り、栽培実証ほ場として試験栽培を行ってもらうことにより、新規作物としてのゴマの有用性の実証を行います。
27 (地創)	地域農業活性化推進事業	5,692	農業振興課	地域内での認知度が向上し、産地化につながりつつある唐辛子に焦点を当て、生産部門と販売部門の両方から積極的な取り組みを行い、ブランド化を図ります。
28 (地創)	山間地域情報交流施設運営事業	967	農業振興課	道の駅「熊野きのくに」を山間部の農産物の集荷、直売の拠点及び農産資源等の情報発信拠点として活用し、山間部の地域活性化を図ります。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
29	農道橋梁耐震点検事業	2,000	農業振興課	延長15m以上の農道橋5橋の耐震点検を実施し、点検結果をもとに改修計画を策定していきます。
<b>4 林業</b>				
30 (地創)	森林資源データ解析事業	38,870	林業振興課	国が過去に実施した航空レーザー測量データを分析することにより、市内山林の地形や樹種、材積等を把握し、境界確認や森林整備の実施につなげていきます。
31 (地創)	クマノザクラの名所づくり事業	6,317	林業振興課	平成30年に新種として認定されたクマノザクラについて、観光客が訪れるような名所を紀和町内につくります。
32 (地創)	木工職人担い手確保事業	3,997	林業振興課	木工職人については、後継者がおらず、徐々に減っていく可能性が高いため、地域おこし協力隊の制度を活用し、市内木工職人の下で技術を習得してもらうなどして、後継者の育成を図ります。
<b>5 水産業</b>				
33 (地創)	新たな漁業のあり方調査事業	233	水産・商工振興課	漁業者の新たな収入源となり、かつ漁業者や漁協が主体となって取り組むことができる多様な漁業を学ぶため、先進地への視察を行います。
34 (地創)	熊野すりみん販路拡大事業	209	水産・商工振興課	骨などを取り除き柔らかく滑らかな食感が特徴の魚のすり身「熊野すりみん」について、ふるさと振興公社と連携して販路拡大を図ります。
35	市単磯崎漁港改良事業	1,180	水産・商工振興課	磯崎漁港の破損した突入防止柵の撤去や防舷材の改良を行い、漁業者が安全、安心して活動できるようにします。
小計 35事業		116,404		
<b>②保健・医療・福祉の充実</b>				
<b>「絆」をもとに支え合い助け合う、健やかに暮らせるまち</b>				
<b>1 高齢者福祉</b>				

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
1	認知症総合支援事業	8,753	健康・長寿課	<p>高齢者ができるだけ長く住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするため、</p> <p>①認知症地域ネットワーク強化事業(新規)(466千円) 必要な支援に結びついていない認知症高齢者について、民生委員等の情報により優先度が高いと判断された方から順次、個別訪問を行い、支援が必要と判断される場合は、認知症初期集中支援チームによる早期受診等の個別支援につなげます。また、映画鑑賞会や講話を行い、地域における認知症の理解を深め、見守り体制の強化を図ります。</p> <p>②認知症初期集中支援推進事業(7,872千円) 認知症の人とその家族を訪問し、専門医による診断等を踏まえて、初期において包括的・集中的に支援し、自立生活のサポートを行います。</p> <p>③認知症カフェ事業(379千円) 認知症の人と家族、ボランティア等の地域住民や専門職が交流し、認知症について考える場として、また情報交換や相談も行える場を提供します。</p> <p>④徘徊SOSネットワーク事業(36千円) 徘徊のおそれのある認知症高齢者等の支援を行うため、関係機関による緊急連絡体制及び支援体制を構築します。</p>
<b>2 子育て支援</b>				
2 (地創)	産前・産後サポート事業	152	健康・長寿課	妊産婦が抱える妊娠や子育てに関する悩み等について、保健師等による相談支援を行います。
3	子育て支援包括支援センター事業	7,655	健康・長寿課	保健福祉センター内に子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。
4 (地創)	保育の質の向上事業	237	福祉事務所	保育士に対する研修を増やし、キャリアアップや保育の質の向上を図ります。
5	福祉医療費助成制度未就学児窓口無料化対応事業	9,926	市民保険課	0歳から6歳までの未就学児に対する医療費助成について、今年の平成31年9月から窓口無料化をするために必要なシステム改修を行います。
6	子ども・子育て支援事業計画策定事業	245	福祉事務所	子ども・子育て支援法に基づいて、第2期熊野市子ども・子育て支援事業計画を策定し、今後の子育て支援施策に生かします。
7	神川地区保育所児童通園支援事業	298	福祉事務所	神川地区から井戸保育園への通園費(ガソリン代)を補助して、保護者の負担を軽減します。
8	母子生活支援施設入所者自立支援事業	3,911	福祉事務所	母子生活支援施設に入所中の保護者・児童の退所後の生活の安定を図るため、経過措置として退所後の1年間の家賃等を補助します。経済的理由などによる新生活に対する不安を解消し、退所を希望している入所者の自立の促進を図ります。
<b>3 健康づくり</b>				

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
9 (地創)	健康増進ポイント事業	1,963	健康・長寿課	健康づくり事業への意識を高め、健康づくりに取り組まれる方をできる限り増やすため、 ①健康増進ポイント事業(1,647千円) 健診や健康づくりに関する事業への参加により健康ポイントを集め、基準ポイントを達成した場合、レインボー商品券などと交換できるようにします。また、ウォーキングの習慣化をめざし、コース選定や情報発信を行いPRしていきます。 ②健康づくりの周知と体験イベント(新規)(63千円) 自分で取り組める健康づくりの情報の発信と、体験イベント(健康機器測定やヨガ、ストレッチ、健康クイズラリーなど)を行います。 ③子どもへの健康増進ポイント、サポートポイント(新規)(253千円) 親子で健康づくり事業等に参加した子どもに対して健康増進ポイントを発行、基準を達成した場合レインボー商品券と交換します。また、新たな参加者の紹介とサポートをしてもらい、紹介を受けた方が基準ポイントを達成した場合、サポートしてくれた方にはレインボー商品券を贈ります。
10	保健福祉センター空調設備改修事業	4,500	健康・長寿課	老朽化して故障が度々発生している保健福祉センターの空調設備を改修します。平成31年度は設計業務を行います。
4 医療体制				
11	神川へき地診療所・育生へき地出張診療所電子カルテ導入事業	8,797	地域総合課	神川へき地診療所・育生へき地出張診療所に電子カルテを導入し、診察・請求事務等を効率よく行えるようにして、患者の待ち時間の短縮を図るとともに、往診先からの遠隔操作も可能にします。
12	五郷診療所電子カルテ導入事業	4,469	健康・長寿課	五郷診療所にも、上記の神川へき地診療所・育生へき地出張診療所と同様に電子カルテを導入します。
13	高規格救急車更新事業	32,097	消防署	高規格救急車と内部に装備されている高度救命処置用資機材及び救急資機材を更新します。最新鋭の車両及び救命資機材を導入することで、救命率の向上を図り、市民の安心・安全な暮らしにつなげます。
14	あすか救護センター車両更新事業	2,837	消防署	飛鳥・五郷地区での救護活動を行っているあすか救護センターの車両を更新します。
小計 14事業		85,840		
③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、いきいきと心の豊かさに包まれたまち」				
1 文化芸術				
1	図書館情報管理システム更新事業	26,700	教育委員会	現行の図書館情報管理システムを更新し、引き続き快適なシステム環境で図書館の運営を行うことにより、利用者の満足度を高め、読書に対する意識向上を図ります。



(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
2 (地創)	歴史民俗資料館子ども歴史教室事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	30	教育委員会	市内の小・中学生を対象に、熊野古道と熊野市にある多くの史跡や文化財など歴史・文化の学習を行い、郷土の文化を大切にすることを意識を涵養するとともに、ふるさと熊野に誇りを持ってもらいます。
3 (地創)	赤木城周辺整備事業	3,274	教育委員会・地域振興課	赤木城跡に設置している看板の修繕、階段の補修、東屋の修繕等を行い、地域の歴史的資源を守ります。
4	鉱山資料館防水改修事業	1,310	教育委員会	鉱山資料館の防水改修を行って、長寿命化します。
<b>2 子どもの教育</b>				
5 (地創)	ICT教育実施事業	254,664	教育委員会	小・中学校にタブレットPC等を導入し、ICT機器を適切かつ効果的に活用することで、実践的なICT活用能力の育成や、情報モラル教育の充実などを行うとともに、子どもたちの学ぶ意欲の向上、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の実現、グローバル化に対応した人材の育成など、生きる力を育む教育の実現を図ります。また、教職員が使用する校務用PCについても、Windows7のサポートが終了することから一体的に更新を行います。さらにネットワーク環境についても、普通教室の無線LAN化や、校務系と教育系ネットワークのさらなるセキュリティ強化を併せて行います。
6	小学校校舎等改修事業	5,480	教育委員会	井戸小学校屋外倉庫の改修や有馬小学校の鉄棒の取替えを行います。
<b>3 生涯教育</b>				
7 (地創)	地域におけるIoTの学び推進事業	4,587	教育委員会	子どもたちがIoT、AI時代を生き抜くために必要な、論理的思考、想像力、コミュニケーション力、ICTリテラシー等のスキルを育むため、授業だけではなく、課外での学習活動を行うとともに、指導者等の養成を行います。
<b>4 生涯スポーツ</b>				
8	陸上競技場キュービクル更新事業	15,000	教育委員会	陸上競技場のキュービクル(受変電設備)の更新を行い、安心して施設を利用できるようにします。
小計 8事業		311,045		
<b>④生活環境の整備</b>				
<b>「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」</b>				

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
1 市街地の整備				
1	耐震性のない木造住宅除却事業	621	建設課	耐震性が無いと判断された木造住宅について、所有者が撤去工事を行う際の費用の一部を補助します。
2 防災				
2	井戸小学校避難所運営マニュアル作成事業	108	防災対策推進課	井戸小学校での避難所運営マニュアルを作成し、大規模災害の際に「自助」「互助」による円滑な避難所運営ができるようにします。
3	災害情報伝達手段検討事業	213	防災対策推進課	老朽化している防災行政無線にかわる情報伝達手段を構築するため、調査・検討を行います。
4	防災公園防災倉庫資機材等購入事業	1,299	防災対策推進課	防災倉庫で必要となる資機材等を購入し、災害発生時に迅速に対応できるようにします。
5	ライフジャケット配備事業	—	防災対策推進課	津波に備えるため、ライフジャケットを高齢者サロンなどを行っている海岸部の公民館、集会所に配備します。
6	り災証明書交付事務円滑化事業	182	税務課	災害時のり災証明書の交付事務にかかる住家被害調査を円滑に進めるために、必要な装備を購入します。
3 消防				
7	救助資機材整備事業	4,543	消防署	交通事故の救助活動に効果を発揮する電動油圧スプレッター・カッターを整備し、救命率の向上を図ります。
8	紀和分署 非常用浄水装置整備事業	891	消防署	大規模災害の際、飲料水を確保するため、紀和分署に非常用浄水装置を整備します。
9	紀和分署 警防活動資機材整備事業	189	消防署	災害救助用として紀和分署に配備されている救助用カッターを更新します。
10	金山久生屋分団金山車両更新事業	11,115	消防署	金山久生屋分団金山に配備している小型動力ポンプ積載車を更新します。
11	簡易デジタル無線設備整備事業	1,697	消防署	全消防団に簡易型デジタル無線機を配備していますが、消防本部と直接通信できるエリアは市街地及び新鹿、飛鳥の一部となっているため、長尾山に中継装置を設置し市内全域から通信できるようにします。
12	小型動力ポンプ更新事業	1,028	消防署	神川分団神上に配備している小型動力ポンプを更新します。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
13	井戸分団車庫外階段改修事業	1,230	消防署	井戸分団車庫の外階段とその屋根を改修します。
14	消防団員安全装備整備事業	673	消防署	消防団員の安全装備として、ゴーグル型保護メガネを整備します。
15	消防団消火資機材整備事業	475	消防署	消火栓・防火水槽等の消防水利が乏しい地域の各消防団に、水深の浅い河川等でも吸水できる低水位ストレーナーを整備し、有効な消火活動ができるようにします。
4 住宅・住環境				
16	市営住宅改修事業	1,240	建設課	佃団地内の道路を改良します。
5 道路				
17	トンネル長寿命化修繕計画事業	30,002	建設課	老朽化しているトンネルを計画的に修繕することにより、長寿命化を図り、通行の安全を確保します。平成31年度は小川口トンネルの改良を行います。
18	道路照明灯改修事業	6,727	建設課	現在設置している道路照明灯(水銀灯)の中でPCB製品を使用しているものの調査を行い、使用されているものの撤去改修を行います。
6 廃棄物処理				
19	ごみ減量化市民行動計画事業	890	環境対策課	ごみの減量化、リサイクルの推進並びにごみ処理経費削減に結びつけるため、 ①高品位小型家電リサイクル事業(新規)(198千円) 携帯電話、パソコン、デジタルカメラ等の高品位の小型家電を分別回収し、資源ごみとしてリサイクルします。 ②生ごみ等減量化推進事業(65千円) 生ごみ減量化のための啓発活動やグッズの配布を行い、家庭から出る生ごみをはじめとする燃やせるごみの減量化を図ります。 ③エコイベント開催事業(81千円) ごみの減量化やリサイクルについて親子で参加できるエコイベントを開催します。 ④ごみ減量等に関する啓発事業(236千円) 6月の環境月間に、パネル展示を文化交流センター等で開催します。また、チラシを作成し、地元紙に折り込み配布するとともに、ごみ集積場所や大型商業施設等において、啓発活動を実施します。 ⑤出前講座開催等事業(310千円) ごみの分別や減量化の方法について、町内会や老人会など市民を対象にした出前講座を開催します。
20	広域ごみ処理施設整備検討事業	6,130	環境対策課	東紀州5市町による一部事務組合設立準備会を設置し、新たな広域ごみ処理焼却施設の整備を検討していきます。
21	不燃物処分場資源化作業所改修事業	4,000	環境対策課	不燃物処分場資源化作業所テントの出入り口にカーテンを設置し、資源ごみの保管や選別作業を適切にできるようにします。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容
	小計 21事業	73,253		
<b>⑤まちづくりの進め方</b>				
1	有馬第二公民館修繕事業	1,232	教育委員会	有馬第二公民館のサッシの取替えや床材の張替えを行います。
2	紀和総合支所防水改修事業	2,140	地域振興課	新しい紀和総合支所の防水改修を行って、長寿命化を図ります。
3	飛鳥出張所移転事業	4,252	総務課	旧飛鳥中学校校舎内に仮設置している飛鳥出張所を耐震性がある飛鳥中学校特別教室棟内に移転し、来庁者の安全を確保します。
4	自治体クラウド推進事業	61	総務課	近隣自治体と住民情報システムの共同化(クラウドコンピューター化)について、共同して調査研究を行います。
5 (地創)	RPA導入検討事業	159	総務課	RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)による定型業務の効率化を目指し、調査研究を行います。
	小計 5事業	7,844		
	合計 83事業	594,386		

## 5 増額した継続事業

※増額の際の比較のもととなる前年度予算は平成30年度当初予算額です。

※番号の下に「(地創)」の表示がある事業は「熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて実施する事業です。

※「☆」を付けている事業は、大幅に内容を追加・拡大したものです。

※「平成」については、平成31年4月までですが、その翌月以降についても現時点で新元号が未公表のため、「平成」と表記しています。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額	
<b>①産業の振興</b>						
<b>「地域資源をいかした、独創性のある産業が発展するまち」</b>						
1 集客交流						
	1 (地創)	南紀特急バス背面広告事業	478	観光スポーツ交流課	三重交通が運行する南紀特急バスの背面に広告を掲載し、熊野市をPRします。	(283)
☆	2 (地創)	駅前観光拠点施設整備事業	83,952	観光スポーツ交流課	市駅前に、観光案内・体験・ツアーなどの旅行商品の案内及び販売、熊野大花火大会に関する展示や市の観光情報の提供、観光客のおもてなし機能(小休憩所)を持った観光集客周遊促進のための施設を新たに整備します。平成31年度は工事等を行います。また、既存の駅前観光拠点施設(現熊野市観光公社)について、耐震基準を満たす建物への改修のための設計を行います。	(78,567)
	3 (地創)	地域おこし協力隊等観光振興事業	7,431	観光スポーツ交流課	外部からの新しい視点で市内の観光資源を活用した地域や集落の活性化を図ります。民泊の整備推進、体験ツアーの企画・立案、みやげもの開発、都市との交流等を行います。	(287)
	4	観光公社事業	13,400	観光スポーツ交流課	熊野古道をはじめとする市内の豊富な観光資源を活用し、着地型旅行商品や体験プログラムの企画や販売を行い滞在型観光の推進を図るとともに、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などを行い、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。	(400)
	5 (地創)	スポーツフェスティバル開催事業	10,027	観光スポーツ交流課	ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。	(50)
	6 (地創)	クライミング振興事業	621	観光スポーツ交流課	紀和町にはクライマーが注目するクライミングエリアが存在し、遠方から多くのクライマーが訪れており、更なる集客につなげるため、受入態勢を整備するとともに、エリア周辺の環境整備、PR活動を行います。	(285)
2 商工業						

(単位:千円)

		事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
☆	7 (地創)	プレミアム付きレインボー商品券販売促進支援事業	15,000	水産・商工振興課	熊野市商店連合会が発行するプレミアム付きレインボー商品券のプレミアム分10%の一部を支援し、商品券の販売促進による市内の消費拡大と中小小売業の活性化を図ります。平成31年度は、消費税の増税による消費の落ち込みを抑えるため、発行総額を前年の1億4千万円から2億円に引き上げ、増税の時期にあわせた発行とします。	(4,500)
	8 (地創)	記念通り商店街活性化事業	2,221	水産・商工振興課	「いこらい広場」を拠点とした、市民や観光客等が利用できる交流スペースの提供、情報発信、商店街振興のための企画、実施に係る活動を支援します。	(44)
3 農業						
	9 (地創)	青年就農定住円滑化事業	17,381	農業振興課	青年の就農意欲の喚起と就農後の生活の安定を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する資金を交付します。さらに市場及び事業者から引き合いの強い品目の産地化を進めるため、市が推進する品目を経営品目に組み込む場合には、資金の上乗せ支援を行います。	(750)
	10 (地創)	農業生産力強化事業	21,011	農業振興課	新たな担い手の育成や特産品となる農産物の生産・加工・販売、耕作放棄地解消に向けての取組、都市交流事業を行っている柵くまの農業振興公社への支援を行い、地域農業の活性化を目指します。	(4,108)
	11	農地利用状況調査事業	1,486	農業委員会	遊休農地所有者に対して農地の利用意向調査を行い、農地中間管理機構への貸し出しや農地銀行の利用を推進します。	(433)
	12	県営中山間地域総合整備事業	4,500	農業振興課	中山間農村地域の農業生産基盤の整備を進め、地形的に不利な条件下にある農業生産性を向上させるとともに、農村生活環境の改善を図ります。	(1,500)
	13	有害鳥獣駆除事業	15,274	林業振興課	鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。	(3,011)
	14	熊野市ふるさと振興公社事業	44,552	地域振興課	熊野地鶏や新姫、味噌などの特産物の生産・加工・販売や瀨流荘、湯ノ口温泉、鬼ヶ城センター、道の駅熊野・板屋九郎兵衛の里の運営など観光サービス事業などを行います。各部が連携して販売額のアップを図るとともに効率化と生産性向上に努めるなどコスト改革に取り組み、健全な経営に努めます。そして、市と公社が連携を取りながら「輸出力」の増大を図り、市の地域振興、雇用拡大に貢献していきます。	(669)
4 林業						
	15	森林病虫害等防除事業	1,617	林業振興課	花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。	(1,551)
	16	森とのふれあいの場拠点づくり事業	3,394	林業振興課	森や緑と日常的に快適にふれあえることができる拠点を整備するため、雑草木の除去を行います。	(497)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
17	暮らしを守る危険木伐採事業	3,030	林業振興課	台風など災害時の倒木などで集落が孤立する恐れがあるため、集落間を結ぶ林道における危険木及び枝を伐採します。	(368)
18 (地創)	林業担い手対策事業	480	林業振興課	新たに転入して林業に従事するI・Jターン林業担い手の家賃を2年間助成します。	(160)
<b>5 水産業</b>					
19 (地創)	熊野棒受け網漁持続化調査事業	823	水産・商工振興課	サンマ漁に代表される棒受け網漁の新たな可能性を探るため、専門家のアドバイスを受けるとともに新たな集魚灯を使って、漁獲対象を広げて試験操業を行います。	(75)
20 (地創)	新規漁業種類導入調査事業	199	水産・商工振興課	漁業者の新たな収入源となりうる漁業種類として、ヒロメの試験栽培等を行って、新たな漁業種類としての可能性を調査します。	(16)
21	水産物供給基盤機能保全事業	17,800	水産・商工振興課	遊木漁港、磯崎漁港、甫母漁港の機能保全を行うために必要な機能保全計画を策定し、計画に基づき機能保全工事を行います。平成31年度は磯崎漁港の岸壁の機能保全工事を行います。	(8,700)
小計 21事業		264,677			(106,254)

## ②保健・医療・福祉の充実 「絆」をもとに支え合い助け合う、健やかに暮らせるまち」

### 1 高齢者福祉

1	介護予防ケアマネジメント事業	52,371	健康・長寿課	介護予防事業、予防給付等の対象となる高齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。	(1,958)
2 (地創)	高齢者サロン事業	2,863	健康・長寿課	高齢者による高齢者のための憩いのサロンを運営、開催し、高齢者に外出する楽しみを提供します。	(714)
☆	生活支援体制整備事業	10,138	健康・長寿課	高齢者の生活支援体制を整備するため、生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等を行います。	(2,781)
4	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	4,968	健康・長寿課	地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。	(190)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額	
5	元気確認ふれあいノート事業	172	健康・長寿課	高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、75歳以上の一人暮らし高齢者で見守りを希望する方を対象に「元気ふれあい確認ノート」を配布し、どれくらい訪問を受けているか把握し、訪問頻度の少ない人に対して、今後どのような見守りを行っていくかを検討します。	(73)	
6	在宅医療・介護連携推進事業	244	健康・長寿課	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、この地域の在宅医療・介護に携わる様々な職種(医師、看護師、歯科医師、薬剤師、介護職等)の連携ネットワークの構築や地域住民への啓発等を行っていきます。	(100)	
<b>2 障がい者福祉</b>						
7	障がい者自立支援事業	508,404	福祉事務所	障がいのある方に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。	(29,193)	
8	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	529	福祉事務所	小児慢性特定疾患児に対して、特殊寝台等の日常生活用具を給付します。	(286)	
<b>3 子育て支援</b>						
9 (地創)	不妊治療費助成事業	1,060	健康・長寿課	不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成します。	(300)	
10	小学校フッ化物洗口推進事業	1,266	教育委員会	むし歯予防のため、小学生によるフッ化物洗口(うがい)を行います。	(98)	
☆	11	予防接種事業	52,577	健康・長寿課	予防接種法に基づき、四種混合、三種混合、二種混合、BCG、日本脳炎、小児肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ、B型肝炎、風しん等の予防接種を行います。また、風しんの感染拡大防止対策として、平成31年度から原則無料で、特に抗体保有率が低い現在39～56歳の男性に抗体検査を受けていただき、検査結果に応じてワクチンの接種を行います。	(2,505)
12 (地創)	小・中学校スクールバス無料化事業	423	教育委員会	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> スクールバスを利用している児童・生徒に対して、自己負担金を徴収せず、無料にします。	(51)	
13 (地創)	小学校遠距離通学費無償化事業	1,629	教育委員会	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 遠距離地区(学校から2km以上)から小学校に通う児童の通学費(バス定期代やガソリン代)を補助し、通学の負担軽減と通学途上の安全確保を図ります。	(167)	
14	子育て支援センター事業	9,370	福祉事務所	地域全体で子育てを支援するため、金山保育所内に子育て支援センターを設置して、保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談、情報提供、子育てサークルの育成・支援等を行い、子育て支援を行います。	(143)	



(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
15	ひまわり保育園、井戸保育園教育・保育給付費負担事業	159,437	福祉事務所	ひまわり保育園、井戸保育園に対して運営費を負担することにより、保育サービスの維持・充実を図ります。	(3,107)
16	有馬幼稚園教育・保育給付費負担事業	54,001	福祉事務所	有馬幼稚園に対して運営費を負担することにより、教育サービスの維持・充実を図ります。	(4,446)
☆17	小規模保育所教育・保育給付費負担事業	27,562	福祉事務所	小規模保育所こぐまに対して運営費を負担することにより、保育サービスの維持・充実を図ります。平成31年度から、入所児童数を5人から10人に拡大します。	(12,884)
18	ファミリーサポートセンター事業	2,674	福祉事務所	ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。	(45)
<b>4 社会保障等</b>					
19	障がい者医療費助成充実事業	1,642	市民保険課	療育手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療育手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の医療費を助成します。	(160)
20	生活困窮者自立支援事業	5,421	福祉事務所	将来的に生活困窮におちいると見込まれる人に対して、各関係機関が包括的な支援を実施し、生活困窮問題の解決を目指します。	(523)
小計 20事業		896,751			(59,724)
<b>③教育・文化の振興</b>					
<b>「人・歴史・文化を育み、いきいきと心の豊かさに包まれたまち」</b>					
<b>1 文化芸術</b>					
1	文化交流センター企画事業	897	教育委員会	文化交流センターにおいて展示会を企画・実施するとともに、来館者参加型のイベントを開催します。	(46)
2	国際交流推進事業	565	市長公室	姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、熊野市国際交流推進協議会の事業に対して助成を行うことで、海外の産業振興等にかかる取り組みの情報収集や熊野市の文化や歴史を海外に広く伝える活動を行います。	(265)
<b>2 子どもの教育</b>					
3 (地創)	学力向上推進研修事業	165	教育委員会	全国学力学習状況調査の分析結果等をもとに、研修会を開催して教員の指導力を高め、授業方法の工夫と改善につなげます。	(16)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
4 (地創)	学校における囲碁教室事業	397	教育委員会	市内の小中学校において、児童が囲碁に親しむ教室を開催し、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなどの豊かな心や生きる力を育みます。	(44)
5 (地創)	地域コーディネーター配置事業	2,937	教育委員会	教育委員会内において学校支援地域本部を設置し、地域コーディネーターを配置して、学習支援、人権教育、生徒指導分野での学校支援等教育活動を行うとともに、平成32年度からのコミュニティ・スクール完全実施に向け、学校と地域の連携を深めるための連絡調整を行います。	(169)
6	いじめ対策事業	1,086	教育委員会	いじめの防止等に関する機関及び団体(学校、教育委員会、児童相談所、法務局、警察その他)や学識経験者、弁護士、医師、心理の専門家、福祉の専門家等によって、「熊野市いじめ問題対策連絡協議会」、「熊野市いじめ問題対策会議」、「熊野市いじめ問題調査委員会」を組織して、いじめの防止に取り組むとともに、重大な事態が発生した場合は、調査や対処を適切に行っていきます。また、いじめを未然に防止するために学級満足度調査(QU調査)を実施して、学級の中での子どもたちの人間関係を明らかにし、課題を解決するため適切な指導を行います。	(179)
7 (地創)	スクールバス運行事業	16,681	教育委員会	遠距離通学する児童・生徒の通学の安全を確保するため、新鹿小中学校、飛鳥小学校、入鹿小中学校及び熊野川小中学校へ通う子どもたちのためにスクールバスを運行します。	(150)
3 生涯学習					
8	熊野検定事業	120	教育委員会	市内の観光に携わる関係者(宿泊施設、飲食店、タクシー等)を始め、市民がより深く熊野の歴史や文化を知るためにセミナー等を開催し、語り部やガイドができる人材を育成します。	(48)
4 生涯スポーツ					
☆ (地創)	国体開催準備事業	3,963	教育委員会	平成33年に開催される国民体育大会(成年女子ソフトボール、成年男子ラグビー)の開催準備を行っていきます。	(3,198)
☆	陸上競技場ナイター照明設備改修事業	3,500	教育委員会	陸上競技場のナイター照明設備を改修して、夜間の競技場を安全・快適に使用できるようにします。	(1,000)
5 人権尊重社会の形成					
11	人権啓発事業	583	市民保険課	広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会を行います。	(217)
12 (地創)	男女共同参画推進事業	315	市長公室	男女が共にあらゆる分野に参画していくことの大切さ、自然さへの認識を深めるため、各種啓発活動を行い、東紀州5市町で連携し、持ち回りで映画を上映します。	(242)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額	
小計 12事業		31,209			(5,574)	
<b>④生活環境の整備</b>						
<b>「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」</b>						
1 土地利用・市街地の整備・公園						
	1	地籍調査事業	11,765	建設課	道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、道路の整備促進を図ります。	(3,313)
	2	空き家対策等推進事業	220	建設課	空き家の適切な管理を推進するため、協議会により特定空家を認定し、所有者の調査と管理にかかる指導を行います。	(108)
	3	電線共同溝整備事業	548	建設課	市道西川町獅子岩線無電柱化の実施に向け、官民による検討会議や地域住民を対象とした先進地視察を行います。	(375)
	4	イルミネーション飾り付け事業	2,219	建設課	冬場に二十数万球のLED電球を飾り付け、にぎわいを創出するとともに、健康づくりにも寄与します。また、装飾を学生等住民が行うことで、官民共同によるにぎわいの場づくりを目指します。	(1,307)
☆	5	山崎運動公園長寿命化対策事業	110,010	建設課	山崎運動公園各施設の長寿命化のため、改修工事を実施していきます。	(98,009)
2 防災						
	6	自主防災組織資機材整備事業	1,000	防災対策推進課	防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。平成31年度から1組織当たりの年間補助上限額を5万円から10万円に引き上げます。	(500)
	7	急傾斜地崩壊対策事業	10,950	建設課	甫母地区外6地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。	(450)
	8	防災公園整備事業	80,010	建設課	オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、屋根付練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成31年度は修景工事、防災倉庫内装建築工事、屋根付練習場外壁工事を行います。	(40,009)
3 道路						
	9	社会資本整備道路新設改良事業(社会資本整備総合交付金事業)	122,710	建設課	矢賀里廻り1号線・瀬流荘湯ノ口温泉線・久生屋釜ノ平線の改良を行います。	(81,554)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
10	橋梁長寿命化修繕計画事業(社会資本整備総合交付金事業)	17,002	建設課	市道の重要路線及び集落孤立化の恐れのある橋梁の長寿命化のため、修繕、落橋防止を行います。	(2,000)
11	道路新設改良事業	29,600	建設課	市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。	(3,600)
4 交通体系					
12	バス運行対策事業	89,644	市長公室	路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。運行路線 清流・那智黒石の里線、潮風かほる熊野古道線、瀬流荘紀南病院線、熊野古道瀬流荘線、飛鳥・五郷線	(5,463)
13	生活交通路線維持費補助事業	2,079	市長公室	市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。	(141)
14	生活交通対策推進事業	29,929	市長公室	市街地、紀和町、海岸部、神川町、育生町における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るため、乗合タクシーを運行します。また、観光客に対する2次交通の確保を図るため、市街地観光施設及び体験施設を周遊する定時定路線型、運賃固定のバス(ワゴン車)を運行します。平成31年度は車両を追加し、増発便への対応を行うとともに既存車両の長寿命化を図ります。	(3,998)
5 環境保全					
15	休廃止鉱山鉱害防止事業	8,409	環境対策課	休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(公益財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。	(135)
小計 15事業		516,095			(240,962)
⑤まちづくりの進め方					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
1 (地創)	移住定住促進・空き家活用事業	8,457	市長公室	<p>都市部からの移住、市内への定住を促進するため、</p> <p>①ワンストップ移住相談窓口の運営(3,032千円) 移住者の受入れを推進するため、移住相談窓口や空き家バンクを運営します。</p> <p>②都市部における移住促進PR事業(1,468千円) 「ふるさと回帰フェア」及び「三重県移住フェア」(東京・大阪)等での情報発信や募集説明会を開催します。</p> <p>③お試し住宅の整備(1,083千円) 熊野市で住宅や仕事を探すことを目的としたお試し居住施設を整備し、移住を促進します。</p> <p>④田舎暮らし体験ツアー(162千円) 移住希望者のために田舎暮らし体験ツアーを実施し、移住促進につなげます。</p> <p>⑤空き家改修補助(1,992千円) 移住者が空き家を活用して移住する場合に、改修に係る費用の一部を補助し、移住を促進します。</p> <p>⑥移住促進のための市営住宅活用と補助(720千円) 紀和町では過疎と高齢化が著しいため、市営住宅第3所山団地への定住を希望する人に対して、家賃の半額(上限2万円)を補助し、若者の定住促進につなげます。</p> <p>⑦職人等の移住促進対策 木工職人が工房として活用できる倉庫がついている空き家の情報や支援制度を技術専門学校等の在学生や卒業生など、木工職人を志す方に対して発信し、移住を進めます。</p> <p>⑧Uターン促進事業 Uターンを促進するため、広報くまのへUターンを呼び掛ける記事を掲載するとともに、地元出身者に効果的に情報を届ける方法についても研究します。</p>	(425)
2	職員研修事業	4,096	総務課	<p>若手職員を対象にコーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。中堅職員を対象にOJT研修を実施し、現場での経験から自分の意志で動き、学び、成長していく人材を育てます。また、年代・役職に応じたステップアップ研修や観光名所現地研修、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、ワンペーパー資料作成研修、ハラスメント研修、法務研修等を行って、能力向上を図ります。</p>	(552)
小計 2事業		12,553			(977)
合計 70事業		1,721,285			(413,491)

## 6 平成31年度一般会計等当初予算の主な内容

※増額の際の比較のもととなる前年度予算は平成30年度当初予算額です。

※新規・増額・継続の下に「(地創)」の表示がある事業は「熊野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて実施する事業です。

※新規事業・増額事業については、P17～35の内容を再掲しております。

※「平成」については、平成31年4月までですが、その翌月以降についても現時点で新元号が未公表のため、「平成」と表記しています。

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
<b>①産業の振興</b>					
<b>「地域資源をいかした、独創性のある産業が発展するまち」</b>					
1 集客交流の推進					
(1)観光業					
(ア)多様な情報発信の展開					
新規 (地創)	熊野古道世界遺産登録15周年記念メディア広告事業	8,615	市長公室	熊野古道を中心に、熊野市の特産品、自然や歴史、文化、イベントなどを紹介することで、熊野市の魅力を市外・県外にPRします。	
新規 (地創)	熊野古道15周年記念PR動画作成事業	1,156	観光スポーツ交流課	これまでにない若い層にアピールするため、インフルエンサーを起用して、熊野古道の魅力を紹介する動画の作成を行い、情報発信を行います。	
新規 (地創)	パブリシティ推進事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	396	観光スポーツ交流課	プレスリリース配信会社に熊野市や熊野古道のイベント等を情報提供をすることで、様々な媒体のメディアに取り上げられる可能性を向上させ、熊野市や熊野古道のPRを行います。	
新規 (地創)	熊野市絶景フォトラリー事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	656	観光スポーツ交流課	一定のキャンペーン期間内に熊野古道周辺など市内の観光スポットで撮影された絶景を、拡散性が高いインスタグラムに投稿してもらい、抽選で熊野市の特産品を記念品として贈呈します。市からのみではなく、市民や観光客にも情報発信に参加してもらい、集客を図るとともに新たな観光資源の掘り起こしを図ります。	
新規 (地創)	デジタルプロモーション事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	674	観光スポーツ交流課	熊野古道を中心としたPR動画(体験プラン、観光地案内、まち歩き等)を新たに作成し、旅行に関心の高い層にターゲットを絞って、ユーチューブに動画広告を配信します。	
新規 (地創)	くまの星空絶景ガイドマップ作成事業	242	観光スポーツ交流課	熊野市近郊は世界的に天文観測が盛んなハワイの夜空とほぼ同じ暗さであることから、「星空」という観光資源を生かし誘客するための絶景の星空を撮影できるスポットを紹介するガイドマップを作成し、PRします。	
増額 (地創)	南紀特急バス背面広告事業	478	観光スポーツ交流課	三重交通が運行する南紀特急バスの背面に広告を掲載し、熊野市をPRします。	(283)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
<b>(イ)外国人観光客を含めた受入態勢の向上</b>					
新規 (地創)	熊野市観光案内強化事業	23	観光スポーツ交流課	観光集客施設ごとに観光地までのルートや観光スポットの詳しい説明を記載したパンフレットを作成し、観光客の利便性向上を図ります。	
新規 (地創)	観光マーケティング事業	1,080	観光スポーツ交流課	SNS投稿や携帯電話の位置情報を利用して、熊野市を訪れた観光客や熊野市に興味を持つ人の動向を調査し、今後の観光政策の基礎とします。	
新規 (地創)	熊野市自主運行バス インバウンド対策化事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	2,165	市長公室	海外観光客の受入れに対応するため、バス車内での英語による音声案内やバス停表示、各バス停の番号表示や路線ごとの色分けなどを実施します。	
新規 (地創)	熊野古道客に対する2次交通運行実証事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	950	市長公室	世界遺産登録15周年に合わせて、市街地周辺(花の窟、獅子岩、熊野古道)への2次交通運行の実証を行います。海外観光客や日本人観光客が熊野古道をはじめとする世界遺産を訪れるための手段を確立することで、更なる誘客を図ります。	
増額 (地創)	駅前観光拠点施設整備事業	83,952	観光スポーツ交流課	市駅前に、観光案内・体験・ツアーなどの旅行商品の案内及び販売、熊野大花火大会に関する展示や市の観光情報の提供、観光客のおもてなし機能(小休憩所)を持った観光集客周遊促進のための施設を新たに整備します。平成31年度は工事等を行います。また、既存の駅前観光拠点施設(現熊野市観光公社)について、耐震基準を満たす建物への改修のための設計を行います。	(78,567)
継続 (地創)	熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進事業	196	観光スポーツ交流課	市内の観光施設運営事業者、宿泊業者、運輸業者、旅行業者等の参画による熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進会議を設置し、観光客の集客向上に向けた取組みを行います。	
継続 (地創)	熊野古道客に対する2次交通確保対策事業	3,266	市長公室	熊野古道客に対する2次交通の確保を図るため、松本峠、大吹峠、通り峠・丸山千枚田・赤木城跡等へシャトルバスを運行します。	
<b>(ウ)観光地としての魅力創造</b>					
継続 (地創)	外国人誘客促進対策事業	1,618	観光スポーツ交流課	外国人観光客の受け入れ態勢の向上のため、無料Wi-Fi設備を設置する観光関連施設への補助を行います。また、外国人観光客の誘致のため、海外セールスも積極的に行うとともに、くまの宿組合が実施する外国人の海外旅行関係者の受入事業に必要な経費の一部を支援します。	
継続 (地創)	徐福の里魅力向上事業	1,373	観光スポーツ交流課	徐福伝説を活用し、波田須周辺の地域資源の魅力を高め「徐福の里」波田須を国内外に発信します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	観光大使事業	439	観光スポーツ交流課	熊野市にゆかりがある方々に観光大使になっていただき、熊野市の魅力、良さを国内外にPRしてもらいます。また、観光大使のアドバイスを今後の観光施策に反映します。	
継続 (地創)	観光案内スマホ活用事業	66	観光スポーツ交流課	携帯アプリ「かざすCITY」を利用した観光名所等の情報を提供し、観光客の誘客と観光振興を図ります。	
継続 (地創)	東紀州地域広域観光DMO事業	2,654	観光スポーツ交流課	「世界遺産」、「地域産業」を活用した外国人誘客及び輸出促進を図るための観光DMO推進事業(観光地域づくりの舵取り役を担う受け皿づくり)を東紀州5市町村で実施します。	
<b>(エ)体験型観光の促進</b>					
新規 (地創)	熊野古道世界遺産登録15周年記念ウォーキング実施事業	300	観光スポーツ交流課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、三重県が指定する熊野古道ウィークに、熊野古道を歩くウォーキングイベントを開催し、PRと集客を図ります。	
新規 (地創)	丸山千枚田虫おくり 熊野古道世界遺産登録15周年記念花火打上事業	500	地域振興課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、6月の丸山千枚田虫おくりにおいて、記念花火を打ち上げます。	
増額 (地創)	地域おこし協力隊等観光振興事業	7,431	観光スポーツ交流課	外部からの新しい視点で市内の観光資源を活用した地域や集落の活性化を図ります。民泊の整備推進、体験ツアーの企画・立案、みやげもの開発、都市との交流等を行います。	(287)
増額	観光公社事業	13,400	観光スポーツ交流課	熊野古道をはじめとする市内の豊富な観光資源を活用し、着地型旅行商品や体験プログラムの企画や販売を行い滞在型観光の推進を図るとともに、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などを行い、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。	(400)
継続 (地創)	丸山千枚田虫おくり支援事業	270	地域振興課	丸山千枚田の虫おくり実行委員会が主催する「丸山千枚田の虫おくり」に対し支援を行います。	
<b>(オ)集客交流の促進</b>					
新規 (地創)	熊野大花火大会 熊野古道世界遺産登録15周年記念花火打上事業	5,000	観光スポーツ交流課	熊野古道世界遺産登録15周年を記念して、8月の熊野大花火大会において、記念花火を打ち上げます。	
新規 (地創)	観光物産展出展事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	1,005	観光スポーツ交流課	観光物産展に参加し、国内外から来る個人、企業、プレス等に対して、世界遺産登録15周年を迎える熊野古道を中心に熊野市の観光PRを行います。	
新規 (地創)	クマノザクラの郷めぐり事業	527	地域振興課	平成30年に紀伊半島南部で発見された新種の桜「クマノザクラ」が、多く自生している地としての魅力を向上するため、散策マップ等を制作し、案内できるようにします。	



(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	都市農村交流推進事業	757	農業振興課	都市住民(相模女子大学学生)を丸山千枚田で行われる農業体験等で受け入れるなど、集落の活性化につなげていきます。また、相模女子大学との協働により、地域特産品を利用した新商品開発に取り組み、地元特産品を都市部へ売り込みます。	
継続 (地創)	紀和の火祭り・紀和ふるさとまつり開催事業	3,950	地域振興課	地域の活性化と地域振興のため、伝統あるまつりを継続して実施します。	
継続 (地創)	観光イベント開催事業	2,700	観光スポーツ交流課	各種観光イベント事業に対し、事業費の一部を支援することによってイベントの充実を図り、観光地としての宣伝活動及び観光客の誘致を行います。	
継続 (地創)	紀和地域集客・にぎわい創出事業	186	地域振興課	紀和地域の郷土料理及び食文化を後世に伝えるため、地域において聞き取り調査を行い、作り方を映像に収めるなど記録に残します。	
<b>(2)スポーツによる集客交流</b>					
<b>(ア)大会・合宿の誘致</b>					
新規 (地創)	日本女子ソフトボールリーグ開催事業	933	観光スポーツ交流課	日本女子ソフトボールリーグ2部の公式戦を開催し、集客効果を生み出します。	
新規 (地創)	地域おこし協力隊 ソフトボール振興事業	3,987	観光スポーツ交流課	ソフトボールに精通した地域おこし協力隊を配置し、中学生を中心に女子ソフトボールチームを設立して競技人口を増やすとともに、「ソフトボールの聖地 熊野」の知名度向上を目指します。	
新規 (地創)	ホストタウン交流推進事業	3,016	観光スポーツ交流課	熊野市は東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されました。それを受けて、台湾とのソフトボールを通じた交流を推進します。	
増額 (地創)	スポーツフェスティバル開催事業	10,027	観光スポーツ交流課	ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。	(50)
継続 (地創)	サイクルデイ in 熊野開催事業	700	観光スポーツ交流課	一流選手等を講師に迎え、講習会やサイクルイベントを実施し、新たな種目のスポーツ集客の拡大を図ります。	
継続 (地創)	紀伊半島グラウンドゴルフ大会開催事業	50	観光スポーツ交流課	東紀州グラウンドゴルフ大会を開催し、地域の活性化、観光客誘致による集客の拡大を進めます。	
継続 (地創)	還暦野球熊野大会開催事業	600	観光スポーツ交流課	山崎運動公園くまのスタジアム等で、還暦の部16チーム、古希の部4チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客の増大を図ります。	
継続 (地創)	紀伊半島寿野球大会開催事業	900	観光スポーツ交流課	三重・和歌山・奈良3県等からの参加チームにより寿野球大会を開催し、都市間の交流を行うことにより、地域振興を図ります。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	熊野学童軟式野球大会開催事業	500	観光スポーツ交流課	学童軟式野球大会を開催し、他地域からの集客を行うことにより、地域振興を図ります。	
<b>(イ)アウトドアスポーツの推進</b>					
増額 (地創)	クライミング振興事業	621	観光スポーツ交流課	紀和町にはクライマーが注目するクライミングエリアが存在し、遠方から多くのクライマーが訪れており、更なる集客につなげるため、受入態勢を整備するとともに、エリア周辺の環境整備、PR活動を行います。	(285)
継続 (地創)	海水浴場魅力向上事業	1,817	観光スポーツ交流課	新鹿海岸でビーチ・マリンスポーツフェスティバルIN新鹿(シーカヤック、スタンドアップパドルボードの大会)やマリンスポーツ体験会・講習会、ビーチバレーボールフェスタを開催し、熊野の雄大な自然、地形を利用したマリンスポーツを振興し、一年を通じた集客を創出します。	
継続 (地創)	トレイルランニングレース開催事業	1,500	地域振興課	ランニングブームのなか、山道などを走るトレイルランニングが関東地方を中心に爆発的に人口を増やしているため、10キロコース、30キロコース、50キロコースのトレイルランニング大会を開催し、全国からの集客を図ります。	
継続 (地創)	地域おこし協力隊 アウトドアスポーツ振興事業	2,435	観光スポーツ交流課	アウトドアスポーツ(特にマリンスポーツ)に精通した人材を採用し、核となって地域の方々と積極的に事業を進めてもらい、地域活性化を図ります。	
<b>2 商工業の振興</b>					
<b>(1)商 業</b>					
<b>(ア)販売・輸出の強化</b>					
新規 (地創)	那智黒石モニュメント設置事業	5,500	水産・商工振興課	市内公共施設等に那智黒石のモニュメントを設置し、『那智黒石のまち熊野』を市内外にPRします。	
継続 (地創)	那智黒石振興事業	1,995	水産・商工振興課	碁石の黒石の全国唯一の産出地として『那智黒石のまち熊野』を市内外にPRし知名度の向上を図るため、県内最大の囲碁の大会「那智黒碁石まつり」や、三重県のアンテナショップ「三重テラス」にて展示・体験イベントを開催します。また、熊野那智黒石協同組合がポスター・パンフレットを作成する費用の一部を支援します。	
継続 (地創)	物産展開催事業	657	水産・商工振興課	市外への輸出を促進するため、都市部での物産展や商談会等へ参加します。また、関西圏や中部圏において市特産品のPRを実施します。	
継続 (地創)	海外営業活動支援事業	150	水産・商工振興課	市内食品事業者が海外での営業活動を行う際の経費の一部を助成し、販路拡大を支援していきます。	
<b>(イ)中小小売業の活性化と中心市街地におけるにぎわいの創出</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
新規 (地創)	キャッシュレス化推進事業	308	水産・商工振興課	市内事業所に対してキャッシュレス対応の方法や種類、トレンドについてセミナーを行い、事業所の導入を支援します。また、市民の利便性向上を検討するため、先進地の視察を行います。	
新規 (地創)	熊野産本マグロPR事業 (熊野古道世界遺産登録 15周年記念事業)	2,801	水産・商工振興課	熊野産本マグロの美味しさを知ってもらうことで、消費者のニーズを高め、市内での流通を拡大させます。新しい熊野の食文化として定着を図り、商業の活性化につなげていきます。	
新規 (地創)	きのもと商い支援事業(記念イベント経費分)(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	300	水産・商工振興課	商店街が共同で実施するイベント(古道通り夜市、熊野きのもとさんま祭り、熊野街道ひなめぐり)で、熊野古道世界遺産登録15周年記念のイベントを行う際の費用を支援します。	
新規 (地創)	歩き楽しむ記念通り商店街実現支援事業(魅力UP事業分)(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	97	水産・商工振興課	記念通り商店街振興組合が実施する歩行者天国での「いこらい市」開催の際、熊野古道世界遺産登録15周年記念として、いこらい市の魅力アップを行う費用を支援します。	
増額 (地創)	プレミアム付きレインボー商品券販売促進支援事業	15,000	水産・商工振興課	熊野市商店連合会が発行するプレミアム付きレインボー商品券のプレミアム分10%の一部を支援し、商品券の販売促進による市内の消費拡大と中小小売業の活性化を図ります。平成31年度は、消費税の増税による消費の落ち込みを抑えるため、発行総額を前年の1億4千万円から2億円に引き上げ、増税の時期にあわせた発行とします。	(4,500)
増額 (地創)	記念通り商店街活性化事業	2,221	水産・商工振興課	「いこらい広場」を拠点とした、市民や観光客等が利用できる交流スペースの提供、情報発信、商店街振興のための企画、実施に係る活動を支援します。	(44)
継続 (地創)	きのもと商い支援事業(PR費用の支援)	628	水産・商工振興課	商店街が共同で実施するイベント(古道通り夜市、熊野きのもとさんま祭り、熊野街道ひなめぐり)のPR費用を支援します。	
継続 (地創)	歩き楽しむ記念通り商店街実現支援事業(通常分)	593	水産・商工振興課	中心市街地の賑わいを創出し、商店街への経済効果を高めるため、記念通り商店街振興組合が実施する歩行者天国での「いこらい市」開催に係る費用の一部を補助します。	
継続 (地創)	創業支援融資助成事業(若者・女性)	3,000	水産・商工振興課	市内において創業をしようとする若者・女性が所定の融資を受けた場合の保証料及び利子の一部を補助することにより、必要な資金の確保を円滑にし、新たな事業の創出を促します。	
継続 (地創)	創業支援融資助成事業(創業・再挑戦)	600	水産・商工振興課	市内において創業・再挑戦をしようとする方が所定の融資を受けた場合の保証料を補助することにより、必要な資金の確保を円滑にし、新たな事業の創出を促します。	
継続 (地創)	創業支援家賃助成事業	1,290	水産・商工振興課	市内の空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内(月額上限3万円)で最長2年間補助します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	産業競争力強化推進事業	2,231	水産・商工振興課	新たな起業や新分野への進出、事業拡大に取り組む事業者に対して、必要な専門家を派遣することで市内での起業を促進するとともに、中小企業の振興を図ります。	
継続 (地創)	商店街チャレンジショップ事業	180	水産・商工振興課	記念通り商店街内の空店舗の一つを、チャレンジショップとして出店希望者に一定期間貸し出し、商店街での起業を促します。	
継続 (地創)	小規模事業者振興資金利子補給事業	2,740	水産・商工振興課	事業規模の拡大等で事業者が日本政策金融公庫による経営改善貸付及び新企業育成貸付、三重県小規模事業者資金、熊野市小規模事業者資金を活用して融資を受けた場合に、その利子の一部を補助することで経営を支援します。	
継続 (地創)	小規模事業者経営向上支援事業	300	水産・商工振興課	新規事業の立ち上げや新商品開発等の新たな取り組みを促進するため、三重県版経営向上計画をステップ2まで策定した小規模事業者が、計画に基づき新たに取り組もうとする事業の設備投資費用等の一部を支援します。	
継続 (地創)	那智黒石製品開発促進事業	853	水産・商工振興課	三重大学と連携し、那智黒石の加工技術を研究するとともに、多様な分野の事業所等へのサンプル提供と意見収集を行うことで、新たな利活用の方法を模索していきます。	
継続 (地創)	事業承継支援事業	1,200	水産・商工振興課	市内事業所の事業承継を円滑に進めるための支援を行い、事業所の継続を図ります。	
<b>(2)就業機会・人材育成</b>					
<b>(ア)雇用機会の拡大・人材育成</b>					
新規 (地創)	テレワーク推進事業	4,182	水産・商工振興課	テレワークとして請負うことができる業務のマネジメント等を行える人材を確保し、市内での新たな働く場を創出するとともに、ICTやIoTの導入を促進することで既存事業者の業務効率化や生産性の向上につなげていきます。	
継続 (地創)	企業立地促進雇用創出事業	4,712	水産・商工振興課	当市の人口減少の克服及び自律的かつ持続的な活性化を図るため、雇用の創出に資する市外からの企業立地及び市内事業者の事業拡大を積極的に支援することを目的に、平成29年度に新たな基金を設置しました。この基金を活用し、市内外の事業者が市内に事業所等の新設又は増設する際の費用の一部を支援して、新規雇用の創出を促進します。	
継続 (地創)	サテライトオフィス誘致促進事業	2,623	水産・商工振興課	都市部の企業に対して熊野市の魅力をPRするとともに、疑似テレワークを体験してもらい、生活・活動拠点を用意することで、サテライトオフィスの誘致を推進します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	熊野で働く人材確保推進事業	3,864	水産・商工振興課	市内事業所の人材不足を解消し、優秀な人材を確保するため、 ①求職者の相談対応、就職面接会の実施、事業所PR(2,960千円) 在住者及びUIJターン者からの求職相談に対し、個別面談や事業所見学などを実施することで多様なマッチングの実現を図っていきます。ハローワーク、商工会議所と連携し、就職面談会を行います。また、県内外の高校や大学、短大、専門学校等を対象に事業所見学会を実施するとともに事業所紹介情報等を提供することにより、熊野市の事業所自体の認知度を高めます。 ②インターンシップの受け入れ支援(420千円) 大学生を対象に市内の事業所でインターンシップを実施してもらい、研修生の宿泊に係る費用等の助成を行います。 ③就職応援プログラム事業(484千円) 就労体験を希望する方に対して、事業所とマッチングを行います。また、費用について、事業所と体験者に支援します。	
継続 (地創)	若者・女性応援 創業チャレンジ無利息融資事業	5,080	市長公室	若者女性を対象に、創業を目標とする事業に対し、無利息融資を実施します。創業意欲のある若者・女性に対し、融資による金銭的支援を行うことにより、地域経済の活性化及び若者・女性の活躍を促進します。	
<b>3 農林水産業の振興</b>					
<b>(1) 農 業</b>					
<b>(ア) 農業者の確保・育成対策</b>					
増額 (地創)	青年就農定住円滑化事業	17,381	農業振興課	青年の就農意欲の喚起と就農後の生活の安定を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する資金を交付します。さらに市場及び事業者から引き合いの強い品目の産地化を進めるため、市が推進する品目を経営品目に組み込む場合には、資金の上乗せ支援を行います。	(750)
継続 (地創)	農業用機械・施設等バンク事業	50	農業振興課	離農等で不要になった農機具や倉庫施設等について、賃借可能なものを市で情報管理し、機械や施設等を探している新規就農者や市内農業者等へ情報提供を行い、有効活用を図ります。	
継続 (地創)	新規就農者等施設園芸補助事業	3,000	農業振興課	UIJターン新規就農者等が、農業用施設の整備を行う場合、費用の一部を補助します。	
継続 (地創)	農業担い手対策補助事業	480	農業振興課	新たに転入して農業に従事するI・Jターン者に対し、家賃の一部を補助します。	
継続	経営所得安定対策推進事業	658	農業振興課	水田を活用した生産者への戸別所得補償制度を適正かつ円滑に実施するため、各種事務及び必要な取組を実施します。	
<b>(イ) 組織的農業への支援</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	多面的機能支払事業	1,507	農業振興課	地域住民主体での農地・農業用水などの資源の保全管理、環境の保全、水路・農道などの施設の長寿命化を図る活動に対し、その経費の一部を補助します。	
継続	中山間地域等直接支払事業	4,482	農業振興課	耕作放棄地の増加が懸念される中山間地域において、耕作者等に対して5年間にわたり、傾斜度に応じた額を支払うことで、農業生産条件の不利を補正し、多面的機能を確保します。	
<b>(ウ)市場競争力のある農産物・加工品による輸出力強化</b>					
新規 (地創)	特産品振興・販売拡大事業	12,441	農業振興課・ 地域振興課	市の特産品を振興し、販売拡大を図るため、 ①地域産品販売促進事業(3,837千円) 集落支援員制度を活用し、みかん、たかな、唐辛子、新姫、熊野地鶏、サンマなどの地域特産品の需要を開拓するとともに、営業・販売活動を強化します。 ②山間部農産物販売促進事業(2,624千円) 高齢により市場出荷できない農業者を対象に野菜等の集出荷を支援し、道の駅などを活用した直接販売を実施します。 ③農産物特産品化事業(新規)(2,409千円) 集落支援員制度を活用し、新規作物としてのゴマの有用性の実証を行います。 ④営業拠点販売実証事業(3,571千円) 集落支援員制度を活用し、当地域の柑橘等の農作物を中心にニーズの高い商品を、関西圏の新興住宅街等に自ら持ち込み販売を行います。	
新規 (地創)	ゴマ産地化事業	85	農業振興課	市内でゴマ生産者を募り、栽培実証ほ場として試験栽培を行ってもらうことにより、新規作物としてのゴマの有用性の実証を行います。	
新規 (地創)	地域農業活性化推進事業	5,692	農業振興課	地域内での認知度が向上し、産地化につながりつつある唐辛子に焦点を当て、生産部門と販売部門の両方から積極的な取り組みを行い、ブランド化を図ります。	
新規 (地創)	山間地域情報交流施設運営事業	967	農業振興課	道の駅「熊野きのくに」を山間部の農産物の集荷、直売の拠点及び農産資源等の情報発信拠点として活用し、山間部の地域活性化を図ります。	
増額 (地創)	農業生産力強化事業	21,011	農業振興課	新たな担い手の育成や特産品となる農産物の生産・加工・販売、耕作放棄地解消に向けての取組、都市交流事業を行っている柗くまの農業振興公社への支援を行い、地域農業の活性化を目指します。	(4,108)
継続 (地創)	「新姫」特産品化推進事業	1,010	農業振興課	「新姫」について、ぽん酢、果汁、ドリンク等の既存商品等の売り上げ強化に努めることにより、農家の安定所得確保に努めていきます。	
継続 (地創)	優良野菜産地化実証事業	11,880	農業振興課	地域おこし協力隊を活用して、事業者から引き合いの強い農産物を栽培し、さらに規模拡大することにより産地化に努め、耕作放棄地の解消につなげていきます。	
継続 (地創)	柑橘高品質化推進事業	1,580	農業振興課	柑橘の高品質化を図り、他産地との差別化を図るため、栽培資材(マルチ材)を新規に導入する場合に限り、費用の一部を補助します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	特産品等開発事業(一地域一品運動)	500	農業振興課	地域の人材や資源を活用した特産品の開発に係る取り組みに対し、経費の一部を支援し、地域の活性化と雇用の創出を図ります。	
継続	農地集積協力金事業	1,375	農業振興課	農業従事者の高齢化により耕作放棄地の増加が見込まれることから、地域の中心となる経営体へ農地の利用集積を図るため、国の助成金を活用して持続可能な農業構造を目指します。	
継続	農業利活用活性化促進事業	196	農業振興課	現在、10地区で作成している「人・農地プラン」の見直しを行い、農地集積や新たな担い手の確保などを図り、集落の営農継続や多面的機能の維持につなげます。	
継続	農地中間管理事業活用促進事業	180	農業振興課	地域農業の中心となる経営体等への農地集積を図るため、農地中間管理事業の活用がされるよう取り組みを進めます。	
<b>(エ)農村環境の整備と農地の適正な管理</b>					
新規	農道橋梁耐震点検事業	2,000	農業振興課	延長15m以上の農道橋5橋の耐震点検を実施し、点検結果をもとに改修計画を策定していきます。	
増額	農地利用状況調査事業	1,486	農業委員会	遊休農地所有者に対して農地の利用意向調査を行い、農地中間管理機構への貸し出しや農地銀行の利用を推進します。	(433)
増額	県営中山間地域総合整備事業	4,500	農業振興課	中山間農村地域の農業生産基盤の整備を進め、地形的に不利な条件下にある農業生産性を向上させるとともに、農村生活環境の改善を図ります。	(1,500)
継続 (地創)	移住交流・都市農村交流促進貸出農園事業	40	農業振興課	遊休農地になりそうな農地や耕作放棄地を利用し、市民農園として貸し出しを行います。農業を楽しみたいという市民、都市部の方に市民農園を利用してもらおうことで、交流人口の増加を図ります。	
<b>(オ)獣害対策</b>					
増額	有害鳥獣駆除事業	15,274	林業振興課	鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。	(3,011)
継続	狩猟者支援事業	336	林業振興課	狩猟免許所持者の減少、高齢化が進んでいるため、新規に銃及びわな狩猟免許を取得する場合の費用の一部を支援し、獣害被害に対応できる人材を育成します。また、すでに免許を持っている人に対しても、有害獣の効果的な捕獲についての講習会を実施します。	
継続	有害鳥獣捕獲実施隊事業	6,654	農業振興課	鳥獣による農作物への被害が市内全域で深刻化しているため、有害鳥獣捕獲実施隊を組織して、獣害対策に関するきめ細やかな地域指導や捕獲活動を行います。	
継続	農産物獣害対策事業	3,150	農業振興課	農産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農業者の経営意欲低下を防ぎ、農産物の安定生産を図ります。また、ICTを活用した捕獲檻を設置し、ニホンザルの捕獲強化を図ります。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
<b>(カ)(一財)熊野市ふるさと振興公社の役割</b>					
増額	熊野市ふるさと振興公社事業	44,552	地域振興課	熊野地鶏や新姫、味噌などの特産物の生産・加工・販売や瀬流荘、湯ノ口温泉、鬼ヶ城センター、道の駅熊野・板屋九郎兵衛の里の運営など観光サービス事業などを行います。各部が連携して販売額のアップを図るとともに効率化と生産性向上に努めるなどコスト改革に取り組み、健全な経営に努めます。そして、市と公社が連携を取りながら「輸出力」の増大を図り、市の地域振興、雇用拡大に貢献していきます。	(669)
継続 (地創)	丸山千枚田保全事業	22,877	地域振興課	丸山千枚田の稲作・草刈作業及び水口・畦畔・石垣等の補修作業を保存会の協力を得て行い、文化資源としての活用を図り、農耕文化の継承に努めます。また、都市住民との交流を推進し、観光資源としての活用にも努めます。	
<b>(2)林業</b>					
<b>(ア)市民と共存する豊かな森づくり</b>					
新規 (地創)	森林資源データ解析事業	38,870	林業振興課	国が過去に実施した航空レーザー測量データを分析することにより、市内山林の地形や樹種、材積等を把握し、境界確認や森林整備の実施につなげていきます。	
新規 (地創)	クマノザクラの名所づくり事業	6,317	林業振興課	平成30年に新種として認定されたクマノザクラについて、観光客が訪れるような名所を紀和町内につくります。	
増額	森林病虫害等防除事業	1,617	林業振興課	花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。	(1,551)
増額	森とのふれあいの場拠点づくり事業	3,394	林業振興課	森や緑と日常的に快適にふれあえることができる拠点を整備するため、雑草木の除去を行います。	(497)
増額	暮らしを守る危険木伐採事業	3,030	林業振興課	台風など災害時の倒木などで集落が孤立する恐れがあるため、集落間を結ぶ林道における危険木及び枝を伐採します。	(368)
継続 (地創)	木造住宅建設促進対策事業	21,100	林業振興課	地元産材の活用を通して、林業・建築関連産業の活性化を図るため、 ・熊野材を使用した住宅を新築し、床材にも一定面積以上の熊野材を使い、完成後に「熊野の家」モデルハウスとして開放してもらった場合、レインボー商品券を助成します。 20歳以上40歳以下で5年以上定住する方→100万円分 41歳・42歳の方→90万円分 43歳・44歳の方→70万円分 それ以外の方→50万円分 ・また、熊野材を使って、住宅の増築を行った場合、面積に応じて、30万円分、20万円分、10万円分のレインボー商品券を助成します。	



(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	林道開設事業	93,004	林業振興課	林道高代山・大井川線・皿山線開設事業、石間渕線橋梁長寿命化事業を実施します。	
継続	身近なみどり整備推進事業	1,600	林業振興課	倒木の恐れがある樹木から市民の生命や財産を守るため、危険木の伐採に対する支援を行います。	
継続	森林環境創造事業	10,001	林業振興課	環境林の間伐を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。	
継続	林内作業道開設事業	840	林業振興課	森林組合が開設する作業道について、支援を行います。	
継続	民有林境界測量促進事業	616	林業振興課	民有林の位置、境界をGPS等を使用しながら測量・調査する費用の一部を補助します。	
<b>(イ)林産物の需要拡大と安定供給体制づくり</b>					
継続 (地創)	住宅新築希望者説明会実施事業	98	林業振興課	三重県建設労働組合紀南支部が、住宅建設を考えている人向けに説明会を開催する経費の一部を補助し、熊野材の利用を促進します。	
継続 (地創)	熊野材を活用した特産品づくり検討事業	982	林業振興課	名古屋学芸大学に協力を依頼し、熊野材をつかった新たな特産品を開発することで、販売強化につなげます。	
<b>(ウ)森を支える人と組織体制づくり</b>					
新規 (地創)	木工職人担い手確保事業	3,997	林業振興課	木工職人については、後継者がおらず、徐々に減っていく可能性が高いため、地域おこし協力隊の制度を活用し、市内木工職人の下で技術を習得してもらうなどして、後継者の育成を図ります。	
増額 (地創)	林業担い手対策事業	480	林業振興課	新たに転入して林業に従事するI・Jターン林業担い手の家賃を2年間助成します。	(160)
継続	森林経営計画作成推進事業	855	林業振興課	一体的に施業などを行う集約化を推進するため、小規模森林所有者を取りまとめ合意形成を図ります。合意形成への取組に必要な森林情報の収集・現況調査・境界確認等の森林所有者の合意形成等活動への支援を行います。	
<b>(3)水産業</b>					
<b>(ア)水産資源の安定的確保と漁業基盤の整備</b>					
新規 (地創)	新たな漁業のあり方調査事業	233	水産・商工振興課	漁業者の新たな収入源となり、かつ漁業者や漁協が主体となって取り組むことができる多様な漁業を学ぶため、先進地への視察を行います。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
新規 (地創)	熊野すりみん販路拡大事業	209	水産・商工振興課	骨などを取り除き柔らかく滑らかな食感が特徴の魚のすり身「熊野すりみん」について、ふるさと振興公社と連携して販路拡大を図ります。	
新規	市単磯崎漁港改良事業	1,180	水産・商工振興課	磯崎漁港の破損した突入防止柵の撤去や防舷材の改良を行い、漁業者が安全、安心に活動できるようにします。	
増額 (地創)	熊野棒受け網漁持続化調査事業	823	水産・商工振興課	サンマ漁に代表される棒受け網漁の新たな可能性を探るため、専門家のアドバイスを受けるとともに新たな集魚灯を使って、漁獲対象を広げて試験操業を行います。	(75)
増額 (地創)	新規漁業種類導入調査事業	199	水産・商工振興課	漁業者の新たな収入源となりうる漁業種類として、ヒロメの試験栽培等を行って、新たな漁業種類としての可能性を調査します。	(16)
増額	水産物供給基盤機能保全事業	17,800	水産・商工振興課	遊木漁港、磯崎漁港、甫母漁港の機能保全を行うために必要な機能保全計画を策定し、計画に基づき機能保全工事を行います。平成31年度は磯崎漁港の岸壁の機能保全工事を行います。	(8,700)
継続 (地創)	種苗放流事業	3,780	水産・商工振興課	トラフグ、ヒラメ、マダイ、カサゴの放流に加え、魚価が高いアワビの放流を実施し、水産資源の維持・増大と漁家所得の向上・安定を図ります。	
継続 (地創)	アオリイカ産卵床設置事業	705	水産・商工振興課	アオリイカの産卵床として間伐材を沈設し、水産資源の増大を図ります。	
継続	水産多面的機能発揮対策事業	282	水産・商工振興課	地域活動組織が実施する水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する活動(藻場の環境保全など)について支援を行います。	
継続	遊木漁港機能強化事業	128,908	水産・商工振興課	遊木漁港内の主要な岸壁、防波堤等について、耐震診断に基づき地震・津波対策工事を行います。平成31年度は南防波堤の耐震工事を行います。	
<b>(イ)水産物の高付加価値化と消費拡大</b>					
継続 (地創)	水産物加工品等開発・販売推進事業	4,000	水産・商工振興課	地域おこし協力隊の制度を活用して、「熊野すりみん」の販売促進に向けた営業活動を漁協と連携して推進します。	
<b>(ウ)後継者育成</b>					
継続 (地創)	地域おこし協力隊漁業後継者育成事業	7,830	水産・商工振興課	I・Jターン者を受け入れ、一本釣り漁やサンマ漁業に代表される棒受け網漁などの漁業者のもとで修業を行ってもらい、新たな漁業者を確保します。	
継続 (地創)	漁業担い手対策事業	1,020	水産・商工振興課	漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	漁業新規就業者支援事業	360	水産・商工振興課	熊野漁協による漁業新規就業者支援事業に対し補助を行います。	
<b>(エ)内水面漁業の振興</b>					
継続 (地創)	漁協淡水魚放流事業	1,350	水産・商工振興課	淡水魚の増殖保護と漁獲高の向上を図るため、大又川飛鳥五郷、紀和町、北山川神川の各漁協によるアユ、アマゴの放流に対し、助成を行います。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算 より増額す る額
<b>②保健・医療・福祉の充実</b>					
<b>「絆」をもとに支え合い助け合う、健やかに暮らせるまち</b>					
<b>1 支え合い助け合う福祉の充実</b>					
<b>(1)高齢者福祉</b>					
<b>(ア)高齢者の健康づくり</b>					
増額	介護予防ケアマネジメント事業	52,371	健康・長寿課	介護予防事業、予防給付等の対象となる高齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。	(1,958)
継続	高齢者筋力向上トレーニング事業	6,651	健康・長寿課	要介護状態になることを防止するため、高齢者向けに改良されたトレーニング機器を使用して、運動機能向上のためのトレーニングを行います。	
継続	水中運動事業	112	健康・長寿課	要介護状態になることを防止するため、筋力向上・転倒予防のための健康教育(水中運動)を実施します。	
継続	介護予防普及啓発(健康相談)事業	14,548	健康・長寿課	健康に関する不安の解消及び生活習慣改善への取り組みとして、地区別または随時、健康相談を実施します。	
継続	高齢者伝承遊び普及事業	97	健康・長寿課	要介護状態になることを防止するため、身近な遊びであるお手玉等を通じて、高齢者の交流と健康づくりを促進します。	
継続 (地創)	くまの健康体操推進事業	—	健康・長寿課	介護予防を目的として、熊野市独自の「くまの健康体操」を市民の多くに取り入れられるよう普及活動を行います。	
<b>(イ)高齢者の生きがいと社会参加の促進</b>					
増額 (地創)	高齢者サロン事業	2,863	健康・長寿課	高齢者による高齢者のための憩いのサロンを運営、開催し、高齢者に外出する楽しみを提供します。	(714)
継続 (地創)	若返りクラブ事業	2,400	健康・長寿課	生きがいづくり、健康づくりを目的として、自主的な活動を行う高齢者の団体に対し、活動費の一部を助成します。	
<b>(ウ)共に支え合える地域社会づくり</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
新規	認知症総合支援事業	8,753	健康・長寿課	<p>高齢者ができるだけ長く住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするため、</p> <p>①認知症地域ネットワーク強化事業(新規)(466千円) 必要な支援に結びついていない認知症高齢者について、民生委員等の情報により優先度が高いと判断された方から順次、個別訪問を行い、支援が必要と判断される場合は、認知症初期集中支援チームによる早期受診等の個別支援につなげます。また、映画鑑賞会や講話を行い、地域における認知症の理解を深め、見守り体制の強化を図ります。</p> <p>②認知症初期集中支援推進事業(7,872千円) 認知症の人とその家族を訪問し、専門医による診断等を踏まえて、初期において包括的・集中的に支援し、自立生活のサポートを行います。</p> <p>③認知症カフェ事業(379千円) 認知症の人と家族、ボランティア等の地域住民や専門職が交流し、認知症について考える場として、また情報交換や相談も行える場を提供します。</p> <p>④徘徊SOSネットワーク事業(36千円) 徘徊のおそれのある認知症高齢者等の支援を行うため、関係機関による緊急連絡体制及び支援体制を構築します。</p>	
継続 (地創)	生活支援サポート事業	208	健康・長寿課	養成講座を受講した生活支援サポーターが、日常生活で援助を必要とする高齢者を支援することで、いきがいつくりと地域での支え合いの仕組みを作っていきます。	
継続	地域ケア会議推進事業	185	健康・長寿課	医師や民生委員、社会福祉士などにより、個別事例の検討等を行って、高齢者への地域支援ネットワークの構築やケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進します。	
継続	もの忘れ健診事業	72	健康・長寿課	認知機能低下のおそれがある方に対し、認知機能の確認や相談・指導を個別に実施します。	
継続	緊急通報装置設置事業	334	健康・長寿課	在宅の一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、高齢者の急病、災害発生時の緊急時等の連絡・援助体制を確立し、不安の解消、日常生活の安全の確保により、高齢者福祉の向上を図ります。	
継続	元気見守り事業	1,770	健康・長寿課	地区社協の福祉委員を中心として、定期的な訪問やはがき、電話による見守り活動を行い、一人暮らし高齢者等の見守り、安否確認を実施します。	
継続	食の自立支援事業	5,981	健康・長寿課	在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。	
<b>(エ)相談・支援体制の充実</b>					
増額	生活支援体制整備事業	10,138	健康・長寿課	高齢者の生活支援体制を整備するため、生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等を行います。	(2,781)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
増額	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	4,968	健康・長寿課	地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。	(190)
増額	元気確認ふれあいノート事業	172	健康・長寿課	高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、75歳以上の一人暮らし高齢者で見守りを希望する方を対象に「元気ふれあい確認ノート」を配布し、どれくらい訪問を受けているか把握し、訪問頻度の少ない人に対して、今後どのような見守りを行っていかを検討します。	(73)
増額	在宅医療・介護連携推進事業	244	健康・長寿課	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、この地域の在宅医療・介護に携わる様々な職種(医師、看護師、歯科医師、薬剤師、介護職等)の連携ネットワークの構築や地域住民への啓発等を行っていきます。	(100)
継続	集落支援事業	7,834	健康・長寿課	集落支援員を設置し、過疎集落等における高齢者の見守り活動や、高齢者サロンの支援を行います。	
継続	公共交通空白地有償運送高齢者対策事業	468	健康・長寿課	介護予防・認知症対策事業への参加者の足を確保し、高齢者が外出する手段を提供するため、過疎地有償運送にかかる費用を支援します。	
継続	認知症サポーター養成事業	20	健康・長寿課	キャラバンメイトが講師となり、研修会を開催することで、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成します。	
継続	メタボリックシンドローム改善強化事業	190	健康・長寿課	国民健康保険の特定保健指導の対象者に対し、個別訪問による改善のための指導などを実施して、メタボリックシンドロームの予防、改善を図ります。(国民健康保険事業特別会計で実施)	
継続	一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)	116	健康・長寿課	一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。	
継続	総合相談・権利擁護事業	4,444	健康・長寿課	社会福祉士が中心となり、高齢者の実態把握、総合相談・支援及び権利擁護に関する業務を行います。	
継続	介護用品支給事業	3,970	健康・長寿課	重度の介護状態にある高齢者を自宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対し、介護用品購入券を支給します。	
<b>(2)障がい者福祉</b>					
<b>(ア)地域生活への移行支援</b>					
増額	障がい者自立支援事業	508,404	福祉事務所	障がいのある方に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。	(29,193)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
増額	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	529	福祉事務所	小児慢性特定疾患児に対して、特殊寝台等の日常生活用具を給付します。	(286)
継続	障がい児通所支援事業	50,534	福祉事務所	障がいのある子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行います。	
継続	障がい者相談員設置事業	50	福祉事務所	身体障がい者及び知的障がい者の更生援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、障がい者地域活動の推進、関係機関の業務に関する協力、障がい者に関する援護思想の普及を行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ります。	
継続	障がい者(児)紙おむつ給付事業	432	福祉事務所	在宅生活している重症心身障がい者(児)に対して、紙おむつを給付します。	
<b>(イ)就労支援と社会参加</b>					
継続	重度障がい者等管外施設送迎費補助事業	326	福祉事務所	市外施設を利用する重度障がい児(者)に対する移送費用について、補助を行います。	
継続	訓練施設等通所交通費補助事業	1,762	福祉事務所	在宅の障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が訓練施設等に通所するための費用の一部について補助を行います。	
<b>(3)子育て支援</b>					
<b>(ア)母と子の健康づくり</b>					
新規(地創)	産前・産後サポート事業	152	健康・長寿課	妊産婦が抱える妊娠や子育てに関する悩み等について、保健師等による相談支援を行います。	
新規	子育て支援包括支援センター事業	7,655	健康・長寿課	保健福祉センター内に子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。	
増額(地創)	不妊治療費助成事業	1,060	健康・長寿課	不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成します。	(300)
増額	小学校フッ化物洗口推進事業	1,266	教育委員会	むし歯予防のため、小学生によるフッ化物洗口(うがい)を行います。	(98)
増額	予防接種事業	52,577	健康・長寿課	予防接種法に基づき、四種混合、三種混合、二種混合、BCG、日本脳炎、小児肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ、B型肝炎、風しん等の予防接種を行います。また、風しんの感染拡大防止対策として、平成31年度から原則無料で、特に抗体保有率が低い現在39～56歳の男性に抗体検査を受けていただき、検査結果に応じてワクチンの接種を行います。	(2,505)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	新生児聴覚スクリーニング補助事業	306	健康・長寿課	生後1か月未満で実施する新生児聴覚スクリーニング検査費用の一部を補助し、先天性の難聴を早期発見することにより、早期の治療・訓練につなげ、乳幼児の発達を支援します。	
継続 (地創)	妊娠期からの歯科保健対策事業	53	健康・長寿課	妊婦歯科健診や3歳児親子歯科健診を通じて、保護者の歯科保健に対する意識向上を図り、子どものむし歯を減らします。	
継続 (地創)	妊婦一般健康診査事業	12,399	健康・長寿課	妊婦一般健康診査妊娠中14回の健康診査を医療機関に委託して行います。	
継続 (地創)	不育症治療費補助事業	150	健康・長寿課	不育症治療費に要する費用の一部を補助し、不育症治療を受けた方の経済的負担を軽減します。	
継続 (地創)	食育推進事業	89	健康・長寿課	幼児とその保護者に対して、親子料理教室などを開催し、親子で食に関する正しい習慣を身につけ、生活習慣病を予防します。	
継続 (地創)	離乳食教室・すくすく親子相談事業	75	健康・長寿課	離乳食教室、すくすく親子相談を実施し、保護者がゆとりをもって楽しく子育てができるように支援します。	
継続 (地創)	乳児ブックスタート事業	65	健康・長寿課	4か月健診の受診者に、絵本を介した親子のコミュニケーションの重要性を伝えるとともに、その方法について説明し、絵本を配布します。	
継続 (地創)	任意予防接種補助事業	1,546	健康・長寿課	任意予防接種のうち、おたふくかぜ、ロタウイルス、MR、麻しん、風しん、成人用肺炎球菌に要する費用の一部を補助します。	
継続 (地創)	風しん予防接種助成事業	178	健康・長寿課	妊娠を希望する女性または妊婦の家族に対し、風しん予防接種費用の一部を助成します。	
継続 (地創)	産婦健康診査事業	504	健康・長寿課	出産後間もない時期の産婦に対する健康診査を実施して、産後の初期段階の母子に対する支援を強化します。	
継続 (地創)	祖父母手帳配布事業	36	健康・長寿課	共働き世帯が増加するなか、祖父母に子供を預ける家庭が増加しているため、現代の子育てについて情報提供を行い、孫育て支援を行います。	
継続 (地創)	産後ケア事業	162	健康・長寿課	育児不安が強く、きめ細かなサポートが必要な人に対し、心身のケアや育児サポート等の支援を行います。	
継続	乳幼児健康診査事業	1,526	健康・長寿課	乳幼児の健康診査を行い、発育・発達上の異常を早期発見して、対処することにより、子どもたちが健やかに成長できるようにします。	
継続	保育所フッ化物洗口事業	357	福祉事務所	むし歯予防のため、保育園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。	



(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	幼稚園フッ化物洗口推進事業	60	教育委員会	むし歯予防のため、幼稚園園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。	
継続	幼児フッ化物塗布推進事業	715	健康・長寿課	むし歯予防のため、1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月児に歯科健診及びフッ化物塗布を行い、その半年後の2歳、3歳、4歳児にもフッ化物塗布を行います。	
<b>(イ)安心して産み育てられる環境づくり</b>					
継続 (地創)	3歳児以上保育所保育料無料化事業	53,260	福祉事務所	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 市内の市立保育所・私立保育園の保育料のうち、3歳児からの3年間を無料にすることで、子育て世帯の経済的負担を軽減します。(月額1千円までの延長保育料は従来通り有料です)	
継続 (地創)	3歳児以上私立幼稚園保育料無料化事業	7,029	福祉事務所	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 私立幼稚園(有馬幼稚園)の保育料について、通常保育料(9時30分から14時までの分)を3歳児からの3年間無料にします。	
継続 (地創)	保育所広域入所保護者負担軽減事業	306	福祉事務所	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 熊野市に住んでいて、他市町の保育所に通う際の保育料の一部を補助します。(3歳児以上の3年間)	
継続 (地創)	児童発達支援施設無料化・通園支援事業	1,144	福祉事務所	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 児童発達支援施設(紀宝町「通園めだか」)に通う際の自己負担額を無料化し、給食費・送迎費の補助も行って、支援を要する子どもたちへの支援を充実します。	
継続 (地創)	出産祝いレインボー商品券支給事業	10,000	福祉事務所	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 子どもを出産したときのお祝いとして、10万円分のレインボー商品券を支給します。	
継続 (地創)	小・中学校給食費補助事業	30,077	教育委員会	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 小・中学校児童生徒の給食費の一部を補助し、保護者負担を軽減します。給食1食あたりの保護者負担は概ね100円となります。	
増額 (地創)	小・中学校スクールバス無料化事業	423	教育委員会	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> スクールバスを利用している児童・生徒に対して、自己負担金を徴収せず、無料にします。	(51)
増額 (地創)	小学校遠距離通学費無償化事業	1,629	教育委員会	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 遠距離地区(学校から2km以上)から小学校に通う児童の通学費(バス定期代やガソリン代)を補助し、通学の負担軽減と通学途上の安全確保を図ります。	(167)
継続 (地創)	日本スポーツ振興センター掛金無料化事業	198	福祉事務所・教育委員会	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 保育所・小学校・中学校の日本スポーツ振興センター掛金保護者負担金を無料化します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	高校生等医療費無料化事業	1,799	市民保険課	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 高校生等(18歳の年度末まで)の医療費の自己負担を無料にします。	
継続 (地創)	高校生通学費補助事業	2,729	教育委員会	<b>こどもは宝・未来への希望基金事業</b> 市内に住所を有し、紀南地域の公立高校等に通学する生徒、または上川地区から新宮市内の公立高校に通学する生徒に対して、通学にかかる費用の3分の1を補助します。	
新規 (地創)	保育の質の向上事業	237	福祉事務所	保育士に対する研修を増やし、キャリアアップや保育の質の向上を図ります。	
新規	福祉医療費助成制度未就学児窓口無料化対応事業	9,926	市民保険課	0歳から6歳までの未就学児に対する医療費助成について、今年の平成31年9月から窓口無料化をするために必要なシステム改修を行います。	
新規	子ども・子育て支援事業計画策定事業	245	福祉事務所	子ども・子育て支援法に基づいて、第2期熊野市子ども・子育て支援事業計画を策定し、今後の子育て支援施策に生かします。	
新規	神川地区保育所児童通園支援事業	298	福祉事務所	神川地区から井戸保育園への通園費(ガソリン代)を補助して、保護者の負担を軽減します。	
新規	母子生活支援施設入所者自立支援事業	3,911	福祉事務所	母子生活支援施設に入所中の保護者・児童の退所後の生活の安定を図るため、経過措置として退所後の1年間の家賃等を補助します。経済的理由などによる新生活に対する不安を解消し、退所を希望している入所者の自立の促進を図ります。	
増額	子育て支援センター事業	9,370	福祉事務所	地域全体で子育てを支援するため、金山保育所内に子育て支援センターを設置して、保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談、情報提供、子育てサークルの育成・支援等を行い、子育て支援を行います。	(143)
増額	ひまわり保育園、井戸保育園教育・保育給付費負担事業	159,437	福祉事務所	ひまわり保育園、井戸保育園に対して運営費を負担することにより、保育サービスの維持・充実を図ります。	(3,107)
増額	有馬幼稚園教育・保育給付費負担事業	54,001	福祉事務所	有馬幼稚園に対して運営費を負担することにより、教育サービスの維持・充実を図ります。	(4,446)
増額	小規模保育所教育・保育給付費負担事業	27,562	福祉事務所	小規模保育所こぐまに対して運営費を負担することにより、保育サービスの維持・充実を図ります。平成31年度から、入所児童数を5人から10人に拡大します。	(12,884)
増額	ファミリーサポートセンター事業	2,674	福祉事務所	ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。	(45)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	中学生・高校生等医療費助成事業	11,168	市民保険課	子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため、医療費の助成を中学生、高校生等まで拡大します。中学生は医療費の自己負担を無料にします。高校生等(18歳の年度末まで)の医療費の自己負担は通常の3分の1から無料にします。(前ページ上段の高校生等医療費無料化事業)	
継続 (地創)	子育てハンドブック作成事業	110	福祉事務所	熊野市での子育てに役立つ情報をひとつにまとめたハンドブックを作成して配布します。育児に対する悩みや不安などを軽減し、安心して子育てができる環境を整備します。	
継続 (地創)	チャイルドシート購入費補助事業	390	福祉事務所	6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、費用の一部を助成します。	
継続 (地創)	婚活サポーター事業	1,047	福祉事務所	結婚を希望する独身の男女を引き合わせる婚活サポーターの活動を支援し、若い世代の結婚の希望を叶えます。	
継続 (地創)	ペアレントトレーニング事業	30	福祉事務所	親子関係に課題を抱える保護者が、トレーニングによって、子どもに対して適切な行動をとる技術を習得することにより、よい親子関係が築けるように支援をします。	
継続 (地創)	少子化対策・土曜日延長保育事業	—	福祉事務所	引き続き土曜日の開所時間を延長し、保育サービスの充実を図ります。①土曜日午後5時まで延長 金山 ②土曜日午後1時まで延長 新鹿、木本、五郷、入鹿	
継続 (地創)	少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業	1,560	福祉事務所	子育ての不安感、孤立感を解消するため、小学校就学前の乳幼児を養育している家庭が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1、ひとり親家庭の場合は対象を小学6年生まで拡大し、利用料の4分の3を助成します。	
継続 (地創)	市立保育所育ちと学び推進事業	820	福祉事務所	市立保育所園児の豊かな思考力を養うため、運筆指導やグローバル体験、ダンス指導等を実施します。	
継続 (地創)	少子化対策・ふるさと商店街子育て支援事業	45	水産・商工振興課	18歳未満のこどもが3人以上いる世帯に対して、市内の協賛店舗で買物することで、その購入額に応じてレインボー商品券と交換できるサービスが受けられるパスポートを発行します。	
継続 (地創)	結婚新生活支援事業	360	福祉事務所	低所得者を対象に、結婚に伴う新生活に係る費用の一部を支援し、結婚の希望を叶え、地域における少子化対策を推進します。	
継続	放課後児童対策事業	36,955	福祉事務所	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。	
継続	私立幼稚園延長保育事業	2,970	福祉事務所	有馬幼稚園に通う子どもを主な対象とした一時預かり事業(延長保育)を実施し、子育て家庭の仕事と家庭の両立を支援します。	
継続	井戸保育園補助事業	6,120	福祉事務所	井戸保育園に対して、障がいを持った子どもへの加配保育士に要する経費等の一部を補助し、保育サービスの充実を図ります。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	私立保育所延長保育促進事業	600	福祉事務所	就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保護者の希望に応じて、ひまわり保育園、井戸保育園で19時までの延長保育を実施します。	
継続	児童手当給付事業	192,462	福祉事務所	3歳未満の子ども一人につき月額1万5千円を、3歳以上小学校修了までの子ども(第1子、第2子)は月額1万円、3歳以上小学校修了までの子ども(第3子以降)は月額1万5千円、中学生は月額1万円を支給します。所得制限以上の方には特例給付として、月額5千円を支給します。	
継続	こども発達支援事業	16,700	福祉事務所	保健、福祉、教育の3部局が連携して「こども発達支援室」を福祉事務所内に設置して、支援を必要とする子どもに対して途切れのない支援を行います。	
継続 (地創)	ひとり親家庭等相談窓口事業	31	福祉事務所	福祉事務所のこども発達支援室内に直通電話「ひとり親ホットライン」を開設し、相談しやすい体制を構築します。	
継続	ひとり親家庭高等職業訓練促進事業	3,700	福祉事務所	ひとり親家庭の父または母が就職の際有利になるよう、生活の安定に結びつく資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する間の生活費の一部を助成します。	
継続	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付事業	600	福祉事務所	ひとり親家庭の自立の促進を図るため、就業に結びつく可能性が高く、国が定める講座等の受講費用の一部を助成します。	
<b>(ウ)地域や社会で子育てを支える環境づくり</b>					
継続	老人とのふれあい事業	595	福祉事務所	保育園児と地域の老人との季節行事や手作り玩具の製作・伝承遊び等を通じてふれあいを図り、子どもには「人を敬う心」を育むとともに、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進します。	
<b>(4)社会保障等</b>					
<b>(ア)福祉医療</b>					
増額	障がい者医療費助成充実事業	1,642	市民保険課	療育手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療育手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の医療費を助成します。	(160)
<b>(イ)生活支援</b>					
増額	生活困窮者自立支援事業	5,421	福祉事務所	将来的に生活困窮におちいると見込まれる人に対して、各関係機関が包括的な支援を実施し、生活困窮問題の解決を目指します。	(523)
<b>2 健康長寿の推進</b>					
<b>(1)健康づくり</b>					
<b>(ア)健康づくり意識の向上</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
新規 (地創)	健康増進ポイント事業	1,963	健康・長寿課	健康づくり事業への意識を高め、健康づくりに取り組まれる方をできる限り増やすため、 ①健康増進ポイント事業(1,647千円) 健診や健康づくりに関する事業への参加により健康ポイントを集め、基準ポイントを達成した場合、レインボー商品券などと交換できるようにします。また、ウォーキングの習慣化をめざし、コース選定や情報発信を行いPRしていきます。 ②健康づくりの周知と体験イベント(新規)(63千円) 自分で取り組める健康づくりの情報の発信と、体験イベント(健康機器測定やヨガ、ストレッチ、健康クイズラリーなど)を行います。 ③子どもへの健康増進ポイント、サポートポイント(新規)(253千円) 親子で健康づくり事業等に参加した子どもに対して健康増進ポイントを発行、基準を達成した場合レインボー商品券と交換します。また、新たな参加者の紹介とサポートをしてもらい、紹介を受けた方が基準ポイントを達成した場合、サポートしてくれた方にはレインボー商品券を贈ります。	
新規	保健福祉センター空調設備改修事業	4,500	健康・長寿課	老朽化して故障が度々発生している保健福祉センターの空調設備を改修します。平成31年度は設計業務を行います。	
継続	がん検診事業	18,973	健康・長寿課	がんの早期発見、早期治療を図るため、集団(検診車)、個別(医療機関)によるがん検診を行います。	
継続	がん検診推進事業	1,233	健康・長寿課	がん検診の受診率を高めるため、啓発活動を実施したり、予防のための生活習慣についてPRなどを行います。また、乳がん、子宮頸がんの対象者に検診手帳、クーポン券と共に受診案内を送付し、有効期限内に受診した方に検診費用を補助します。	
継続	元気づくり推進員育成事業	1,294	健康・長寿課	元気づくり推進員を育成し、健康診査やがん検診の推進、健康づくり事業のPRを行います。地域に密着した健康づくりを実施することで、市民の健康への意識を高めます。	
継続	骨粗しょう症予防事業	36	健康・長寿課	加齢とともに骨密度が低下しやすい女性を対象に骨密度チェックを実施し、健康教育を施すことによって、将来骨粗しょう症になることを防ぎます。	
継続	成人歯科保健対策事業	165	健康・長寿課	歯を失う最大の原因になっている歯周疾患の予防と早期発見を行うため、40歳、50歳の節目の年齢の方に検診、保健指導を行います。	
継続	自殺対策事業	349	健康・長寿課	講演会の開催や相談窓口チラシの配布等による啓発活動により、自殺の防止を図ります。	
<b>(イ)生活習慣病予防</b>					
継続 (地創)	100日健康体験チャレンジ事業	167	健康・長寿課	体組成等の測定会を行い、3か月後に再度測定します。その間に、運動や健康に関する情報提供を行い、自分に合った健康づくりに取り組んでもらって、生活習慣病の予防につなげます。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	糖尿病重症化予防事業	939	健康・長寿課	40～50代の人にブドウ糖負荷試験を実施し、境界型糖尿病を早期発見します。発見後、保健指導を徹底して、重症化を防ぎます。	
継続	健康相談・意識啓発・訪問指導事業	217	健康・長寿課	健康診査受診者等に対して個別相談、事後指導通知及び家庭訪問を実施し、本人やその家族に対し必要な保健指導を行います。	
<b>(2)医療体制</b>					
<b>(ア)地域医療体制の充実</b>					
新規	神川へき地診療所・育生へき地出張診療所電子カルテ導入事業	8,797	地域総合課	神川へき地診療所・育生へき地出張診療所に電子カルテを導入し、診察・請求事務等を効率よく行えるようにして、患者の待ち時間の短縮を図るとともに、往診先からの遠隔操作も可能にします。	
新規	五郷診療所電子カルテ導入事業	4,469	健康・長寿課	五郷診療所にも、上記の神川へき地診療所・育生へき地出張診療所と同様に電子カルテを導入します。	
<b>(イ)救急医療体制の充実</b>					
新規	高規格救急車更新事業	32,097	消防署	高規格救急車と内部に装備されている高度救命処置用資機材及び救急資機材を更新します。最新鋭の車両及び救命資機材を導入することで、救命率の向上を図り、市民の安心・安全な暮らしにつなげます。	
新規	あすか救護センター車両更新事業	2,837	消防署	飛鳥・五郷地区での救護活動を行っているあすか救護センターの車両を更新します。	
継続	救急事業地域メディカルコントロール体制構築事業	250	消防署	救急活動で実施した応急処置等に対し、専門的な検証医師を確保して事後検証を行い、救急医療体制を充実します。	
継続	救急救命士養成事業	4,022	消防署	これまで継続して行ってきた救急救命士の養成を、平成31年度においても行います。また、現在救急救命士の資格を所有している隊員については、順次気管挿管の実習を実施します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算 より増額す る額
<b>③教育・文化の振興</b>					
<b>「人・歴史・文化を育み、いきいきと心の豊かさに包まれたまち」</b>					
1 市民文化の創造					
(1)文化芸術					
(ア)文化芸術に触れる機会の提供					
新規	図書館情報管理システム更新事業	26,700	教育委員会	現行の図書館情報管理システムを更新し、引き続き快適なシステム環境で図書館の運営を行うことにより、利用者の満足度を高め、読書に対する意識向上を図ります。	
増額	文化交流センター企画事業	897	教育委員会	文化交流センターにおいて展示会を企画・実施するとともに、来館者参加型のイベントを開催します。	(46)
継続 (地創)	図書館企画事業	735	教育委員会	図書館において、読書感想文コンクール、子どもの心づくり講座等を実施します。	
継続	文化公演実施事業	9,548	教育委員会	芸能文化に接する機会の少ない当地方において、芸能文化を鑑賞する機会をつくとともに、地域文化の創作・育成を目指す企画も取り入れ、市民文化の向上を図ります。	
(イ)文化芸術活動の場の提供					
継続	市民会館舞台機構改修事業	31,900	教育委員会	市民会館舞台の吊物装置の改修・取替えを行います。	
継続	図書館図書購入事業	10,000	教育委員会	図書館図書を購入します。	
(ウ)文化的資源の継承と活用					
新規 (地創)	歴史民俗資料館子ども歴史教室事業(熊野古道世界遺産登録15周年記念事業)	30	教育委員会	市内の小・中学生を対象に、熊野古道と熊野市にある多くの史跡や文化財など歴史・文化の学習を行い、郷土の文化を大切にする意識を涵養するとともに、ふるさと熊野に誇りを持ってもらいます。	
新規 (地創)	赤木城周辺整備事業	3,274	教育委員会・地域振興課	赤木城跡に設置している看板の修繕、階段の補修、東屋の修繕等を行い、地域の歴史的資源を守ります。	
新規	鉾山資料館防水改修事業	1,310	教育委員会	鉾山資料館の防水改修を行って、長寿命化します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	歴史民俗資料館所蔵品展開催事業	271	教育委員会	歴史民俗資料館の所蔵品展を開催し、多くの人に紹介することで、資料館の魅力を発信します。	
継続	熊野街道歴史の道整備活用推進事業	1,636	教育委員会	世界遺産登録されている熊野古道の清掃、枝払い等を行い、美観を保つことによって、イメージアップを図り、来訪者の増加につなげます。	
継続	鉱山資料館企画事業	137	教育委員会	採取鉱石を使った工作教室や鉱石運搬の模型体験、クレイ講座や香油マッサージ体験事業などを行い、鉱山への関心を深め、資料館の魅力発信につなげます。	
<b>(2)国際交流</b>					
<b>(ア)国際交流の推進</b>					
増額	国際交流推進事業	565	市長公室	姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、熊野市国際交流推進協議会の事業に対して助成を行うことで、海外の産業振興等にかかる取り組みの情報収集や熊野市の文化や歴史を海外に広く伝える活動を行います。	(265)
継続 (地創)	国際交流員活用事業	6,460	市長公室	姉妹都市ソレント市のあるイタリアから人材を雇用し、海外に向けて熊野市の観光を中心とした情報を発信するとともに、イタリア文化を市内に広めていきます。	
継続	ソレント児童ホームステイ受入事業	528	市長公室	ソレント市の児童を熊野市が受け入れ、市内の家庭でホームステイします。熊野市の児童や家族との交流を通して、生活の様子や熊野市の文化と歴史を学ぶことにより、両市のさらなる友好促進が期待できます。	
継続	児童海外研修事業	3,000	教育委員会	姉妹都市であるソレント市に小学生5人を派遣します。	
<b>(3)地域間交流</b>					
<b>(ア)友好都市との交流推進</b>					
継続	友好都市交流事業	209	市長公室	友好都市である奈良県桜井市との友好を深めるため、熊野市からは「桜井ウォーキングフェスティバル」へ、桜井市からは「熊野那智黒碁石まつり」などへの参加をはじめ各種交流事業を行います。	
<b>(イ)他地域との交流推進</b>					
継続 (地創)	他地域交流推進事業	2,293	市長公室	宮崎県日向市とは、神武天皇御東征の「お舟出の地」と「上陸の地」、碁石の「白石」と「黒石」の産地として深く関係があることから、平成28年10月に「碁石と神武東征がつなぐ協力連携協定」を締結しました。日向はまぐり碁石まつりや日向市ひよっこ夏祭りへの参加を通じた交流や、観光・物産を軸とした各種交流事業を行います。また、広島県熊野町との連携協定の締結を見据え、調整・交流を図っていきます。	
<b>2 生涯学習社会の形成</b>					



(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
<b>(1)学校教育(義務教育)</b>					
<b>(ア)学力向上の推進</b>					
新規 (地創)	ICT教育実施事業	254,664	教育委員会	小・中学校にタブレットPC等を導入し、ICT機器を適切かつ効果的に活用することで、実践的なICT活用能力の育成や、情報モラル教育の充実などを行うとともに、子どもたちの学ぶ意欲の向上、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の実現、グローバル化に対応した人材の育成など、生きる力を育む教育の実現を図ります。また、教職員が使用する校務用PCについても、Windows7のサポートが終了することから一体的に更新を行います。さらにネットワーク環境についても、普通教室の無線LAN化や、校務系と教育系ネットワークのさらなるセキュリティ強化を併せて行います。	
継続 (地創)	地域未来塾事業	739	教育委員会	小学生を対象に、夏休みや冬休みに大学生などを講師として、市の施設及び学校において学習支援を実施し、学力向上を図ります。	
継続 (地創)	学力向上支援事業	504	教育委員会	研究指定校4校において、元三重県学力向上アドバイザーや指導主事を派遣し、各校の研究テーマに沿った指導助言を行い、授業方法の工夫改善を行います。	
継続 (地創)	グローバル体験事業	100	教育委員会	夏休みや冬休みにALTによる英会話教室や英語イベントなどを行い、英語の世界を楽しく体験させることにより、グローバル社会に対応できる児童生徒の育成を目指します。	
継続	外国語指導助手(ALT)配置事業	20,082	教育委員会	外国語指導助手(ALT)を4名配置し、市内の小・中学校に派遣することで、英語教育の充実を図ります。	
<b>(イ)教職員の資質の向上</b>					
増額 (地創)	学力向上推進研修事業	165	教育委員会	全国学力学習状況調査の分析結果等をもとに、研修会を開催して教員の指導力を高め、授業方法の工夫と改善につなげます。	(16)
<b>(ウ)心の教育の推進</b>					
増額 (地創)	学校における囲碁教室事業	397	教育委員会	市内の小学校において、児童が囲碁に親しむ教室を開催し、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなどの豊かな心や生きる力を育みます。	(44)
増額 (地創)	地域コーディネーター配置事業	2,937	教育委員会	教育委員会内において学校支援地域本部を設置し、地域コーディネーターを配置して、学習支援、人権教育、生徒指導分野での学校支援等教育活動を行うとともに、平成32年度からのコミュニティ・スクール完全実施に向け、学校と地域の連携を深めるための連絡調整を行います。	(169)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
増額	いじめ対策事業	1,086	教育委員会	いじめの防止等に関する機関及び団体(学校、教育委員会、児童相談所、法務局、警察その他)や学識経験者、弁護士、医師、心理の専門家、福祉の専門家等によって、「熊野市いじめ問題対策連絡協議会」、「熊野市いじめ問題対策会議」、「熊野市いじめ問題調査委員会」を組織して、いじめの防止に取り組むとともに、重大な事態が発生した場合は、調査や対処を適切に行っていきます。また、いじめを未然に防止するために学級満足度調査(QU調査)を実施して、学級の中での子どもたちの人間関係を明らかにし、課題を解決するため適切な指導を行います。	(179)
継続 (地創)	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業	550	教育委員会	公益財団法人日本サッカー協会が派遣するスポーツ選手や文化人が小学校において体を動かす活動をしたり、自身のエピソードなどを語る授業を行い、夢を持つこと、仲間と協力することの大切さを学ぶ機会を創出します。	
継続 (地創)	コミュニティ・スクール推進事業	—	教育委員会	保護者や地域住民が参画して学校運営の改善・充実を図り、地域の人々と目標を共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を確立します。	
継続	小中学校学校用図書購入事業	1,776	教育委員会	児童生徒の読書の量と質の向上のため、各分野のバランスを考え、学校用図書を購入します。	
<b>(エ)特別支援教育の推進</b>					
継続	臨時特別支援教育支援員設置事業	41,512	教育委員会	情緒、知的、身体的障がい及び発達障がい等の支援が必要な児童生徒に特別支援教育支援員を配置します。	
<b>(オ)安全・安心な学校環境の整備</b>					
新規	小学校校舎等改修事業	5,480	教育委員会	井戸小学校屋外倉庫の改修や有馬小学校の鉄棒の取替えを行います。	
増額 (地創)	スクールバス運行事業	16,681	教育委員会	遠距離通学する児童・生徒の通学の安全を確保するため、新鹿小中学校、飛鳥小学校、入鹿小中学校及び熊野川小中学校へ通う子どもたちのためにスクールバスを運行します。	(150)
継続	中学校給食実施事業	18,042	教育委員会	市内の全中学校において、学校給食を実施します。	
継続	小・中学校防災教育事業	155	教育委員会	大規模災害時等に児童生徒及び教職員が命を守る行動ができるよう、地域の実態に応じた防災教育及び防災対策を行います。	
<b>(2)学校教育</b>					
<b>(ア)高等学校等への要請と協力</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	奨学金貸付事業	9,000	教育委員会	大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後に償還を受けます。また、大学等を卒業した後、熊野市内の事業所に就労した人を対象に貸与した奨学金の返還を免除することがあります。	
<b>(3)生涯学習 (ア)多様な生涯学習機会の提供</b>					
新規 (地創)	地域におけるIoTの学び推進事業	4,587	教育委員会	子どもたちがIoT、AI時代を生き抜くために必要な、論理的思考、想像力、コミュニケーション力、ICTリテラシー等のスキルを育むため、授業だけではなく、課外での学習活動を行うとともに、指導者等の養成を行います。	
増額	熊野検定事業	120	教育委員会	市内の観光に携わる関係者(宿泊施設、飲食店、タクシー等)を始め、市民がより深く熊野の歴史や文化を知るためにセミナー等を開催し、語り部やガイドができる人材を育成します。	(48)
継続	生涯学習事業	2,176	教育委員会	熊野の歴史を学ぶ機会や高度情報化、国際化等に対応した学習機会をつくるため、「子ども囲碁教室」、「熊野市民大学」、「まちの人材活用事業」、「パソコン教室」、「イタリア語教室」等の講座を開設します。	
<b>(4)生涯スポーツ (ア)生涯スポーツの普及・促進</b>					
新規	陸上競技場キュービクル更新事業	15,000	教育委員会	陸上競技場のキュービクル(受変電設備)の更新を行い、安心して施設を利用できるようにします。	
増額 (地創)	国体開催準備事業	3,963	教育委員会	平成33年に開催される国民体育大会(成年女子ソフトボール、成年男子ラグビー)の開催準備を行っていきます。	(3,198)
増額	陸上競技場ナイター照明設備改修事業	3,500	教育委員会	陸上競技場のナイター照明設備を改修して、夜間の競技場を安全・快適に使用できるようにします。	(1,000)
継続	水泳教室事業	215	教育委員会	大人と子どもを対象とした初級者水泳教室を開催します。	
継続	熊野市総合型地域スポーツクラブ運営事業	1,231	教育委員会	国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、スポーツを愛する子どもから高齢者、障がいのある人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。	
継続	市民健康スポーツ祭開催事業	500	教育委員会	子どもから高齢者、障がいを持つ人まで全市民を対象に積極的に参加することのできるスポーツ祭を開催し、地域の生涯スポーツ振興を図り、「市民1人1スポーツ運動」を推進します。	
<b>3 人権尊重社会の形成</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算 より増額す る額
<b>(1)人権の尊重</b>					
<b>(ア)人権問題への総合的な取組</b>					
増額	人権啓発事業	583	市民保険課	広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会を行います。	(217)
継続	人権問題学習事業	200	教育委員会	人権講演会を通じて、人権啓発・人権教育を推進します。	
<b>(2)男女共同参画社会</b>					
<b>(ア)一人ひとりを認め合う意識づくり</b>					
増額 (地創)	男女共同参画推進事業	315	市長公室	男女が共にあらゆる分野に参画していくことの大切さ、自然さへの認識を深めるため、各種啓発活動を行い、東紀州5市町で連携し、持ち回りで映画を上映します。	(242)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算 より増額す る額
<b>④生活環境の整備</b>					
<b>「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」</b>					
<b>1 美しく魅力ある景観の整備</b>					
<b>(1)土地利用</b>					
<b>(ア)適正な土地利用の推進</b>					
増額	地籍調査事業	11,765	建設課	道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、道路の整備促進を図ります。	(3,313)
<b>(2)市街地の整備</b>					
<b>(ア)計画的な市街地の整備</b>					
新規	耐震性のない木造住宅除却事業	621	建設課	耐震性が無いと判断された木造住宅について、所有者が撤去工事を行う際の費用の一部を補助します。	
増額	空き家対策等推進事業	220	建設課	空き家の適切な管理を推進するため、協議会により特定空家を認定し、所有者の調査と管理にかかる指導を行います。	(108)
増額	電線共同溝整備事業	548	建設課	市道西川町獅子岩線無電柱化の実施に向け、官民による検討会議や地域住民を対象とした先進地視察を行います。	(375)
増額	イルミネーション飾り付け事業	2,219	建設課	冬場に二十数万球のLED電球を飾り付け、にぎわいを創出するとともに、健康づくりにも寄与します。また、装飾を学生等住民が行うことで、官民共同によるにぎわいの場づくりを目指します。	(1,307)
継続	防犯灯設置費補助事業	3,790	建設課	区、自治会などが防犯灯の新設やLED防犯灯への改修を行う際に、費用の一部に対して補助を行い、市内防犯灯のLED化を進めます。	
継続	オール熊野フェスタ開催事業	3,500	市長公室	熊野市駅前において、市内各地域の住民同士の絆の再確認や地域内の活力再生、市全体のPRのため、全市民参加型のイベントを実施します。	
<b>(3)花のまちづくり</b>					
<b>(ア)花いっぱい運動の普及</b>					
継続 (地創)	花いっぱい運動事業	4,227	市長公室	育苗施設を活用した花づくり、市内の花グループで組織する「くまの花いっぱいネットワーク」の事業に対して助成を行い、「花のまちづくり」を推進します。また、スマートウェルネスシティの取り組みとして、花による景観整備を行い、歩きたくなるまちの実現を図ります。	
<b>(4)公園・緑地の整備</b>					
<b>(ア)公園・緑地の整備</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
増額	山崎運動公園長寿命化対策事業	110,010	建設課	山崎運動公園各施設の長寿命化のため、改修工事を実施していきます。	(98,009)
<b>2 安全で快適な居住環境の充実</b>					
<b>(1)防 災</b>					
<b>(ア)地域の自主防災組織等の強化</b>					
増額	自主防災組織資機材整備事業	1,000	防災対策推進課	防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。平成31年度から1組織当たりの年間補助上限額を5万円から10万円に引き上げます。	(500)
<b>(イ)防災・減災体制の充実</b>					
新規	井戸小学校避難所運営マニュアル作成事業	108	防災対策推進課	井戸小学校での避難所運営マニュアルを作成し、大規模災害の際に「自助」「互助」による円滑な避難所運営ができるようにします。	
新規	災害情報伝達手段検討事業	213	防災対策推進課	老朽化している防災行政無線にかわる情報伝達手段を構築するため、調査・検討を行います。	
新規	防災公園防災倉庫資機材等購入事業	1,299	防災対策推進課	防災倉庫で必要となる資機材等を購入し、災害発生時に迅速に対応できるようにします。	
新規	ライフジャケット配備事業	—	防災対策推進課	津波に備えるため、ライフジャケットを高齢者サロンなどを行っている海岸部の公民館、集会所に配備します。	
新規	り災証明書交付事務円滑化事業	182	税務課	災害時のり災証明書の交付事務にかかる住家被害調査を円滑に進めるために、必要な装備を購入します。	
増額	急傾斜地崩壊対策事業	10,950	建設課	甫母地区外6地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。	(450)
増額	防災公園整備事業	80,010	建設課	オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、屋根付練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成31年度は修景工事、防災倉庫内装建築工事、屋根付練習場外壁工事を行います。	(40,009)
継続	災害時要援護者避難対策推進事業	401	防災対策推進課	災害時に要援護者の被害を減少させるため、井戸町内、有馬町内の2地区で個別避難計画の作成や避難訓練を実施します。	
継続	災害時用非常食・飲料水整備事業	526	防災対策推進課	大規模災害時の避難者のための非常食及び非常飲料水を備蓄します。	
継続	緊急輸送路等避難路沿道建築物耐震診断支援事業	5,241	防災対策推進課	災害時の緊急輸送道路沿いにある建築物の耐震診断に要する費用を補助します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	避難円滑化標識設置事業	593	防災対策推進課	地震発生時、津波から速やかに避難ができる体制を整えるため、避難場所の表示、避難誘導等の看板を整備します。	
継続	被災建築物応急危険度判定事業	100	建設課	地震によって被害を受けた建築物の危険性を速やかに判定して情報提供ができる体制を整えます。	
継続	防災啓発指導員事業	5,724	防災対策推進課	防災啓発指導員を配置し、耐震診断・家具転倒防止の啓発・受付をはじめ、家具転倒防止器具の取り付けなどを行います。	
継続	津波避難路ブロック塀等除去改修事業	750	防災対策推進課	津波浸水予測地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。	
継続	木造住宅耐震補強設計費補助事業	1,200	防災対策推進課	木造住宅の耐震補強設計費への補助を行います。	
継続	木造住宅耐震補強補助事業	22,500	防災対策推進課	地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。	
継続	停電時避難誘導灯整備事業	2,750	防災対策推進課	災害時に停電しても自動的に点灯する街灯の中で、老朽化しているものの取替えを行い、停電時の夜間の避難に備えます。	
継続	木造住宅耐震診断等事業	4,720	防災対策推進課	昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、市民からの希望を募り耐震診断を無料で実施します。	
継続	DONETを活用した津波予測・伝達システム整備事業	153	防災対策推進課	三重県と南部地域の市町が協力して、DONET(地震・津波観測監視システム)を活用した津波予測・伝達システムを整備し、災害対策に役立てます。	
継続	福祉避難所資機材整備事業	64	防災対策推進課	市と福祉避難所の協定を結んでいる「たちばな園」「むつみ苑」「ケアホーム熊南」「たちばな園あすか」に必要な資機材を購入します。	
継続	簡易型感震ブレーカー設置促進事業	200	防災対策推進課	地震の揺れを感知すると、ブレーカーからの電気を自動的に遮断する感震ブレーカーを高齢者や障がい者の住居に取り付け、電気火災を防止します。	
継続	家具転倒防止器具取付事業	—	防災対策推進課	災害要援護者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、L字型金具等を取り付けます。また、自主防災組織で取り付ける場合、対象者への器具の無償配布を行います。	
継続	防災対策介護予防健康体操事業	—	防災対策推進課	三重大学・中部電力との産学官連携により、ゴムバンドを使った健康体操の普及を図ります。	
継続	新鹿海水浴場津波避難訓練事業	—	防災対策推進課	津波避難訓練を実施し、海水浴客や関係者の防災意識の向上を図ります。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	福祉避難所運営マニュアル作成事業	—	防災対策推進課	大規模災害の際、福祉避難所が有効に機能するように運営マニュアルを作成します。平成31年度は「たちばな園あすか」で作成します。(「たちばな園」「むつみ苑」「ケアホーム熊南」は作成済み)	
<b>(2)消 防</b>					
<b>(ア)消防力の充実強化</b>					
新規	救助資機材整備事業	4,543	消防署	交通事故の救助活動に効果を発揮する電動油圧スプレッダー・カッターを整備し、救命率の向上を図ります。	
新規	紀和分署 非常用浄水装置整備事業	891	消防署	大規模災害の際、飲料水を確保するため、紀和分署に非常用浄水装置を整備します。	
新規	紀和分署 警防活動資機材整備事業	189	消防署	災害救助用として紀和分署に配備されている救助用カッターを更新します。	
<b>(イ)消防団の充実強化</b>					
新規	金山久生屋分団金山車両更新事業	11,115	消防署	金山久生屋分団金山に配備している小型動力ポンプ積載車を更新します。	
新規	簡易デジタル無線設備整備事業	1,697	消防署	全消防団に簡易型デジタル無線機を配備していますが、消防本部と直接通信できるエリアは市街地及び新鹿、飛鳥の一部となっているため、長尾山に中継装置を設置し市内全域から通信できるようにします。	
新規	小型動力ポンプ更新事業	1,028	消防署	神川分団神上に配備している小型動力ポンプを更新します。	
新規	井戸分団車庫外階段改修事業	1,230	消防署	井戸分団車庫の外階段とその屋根を改修します。	
新規	消防団員安全装備整備事業	673	消防署	消防団員の安全装備として、ゴーグル型保護メガネを整備します。	
新規	消防団消火資機材整備事業	475	消防署	消火栓・防火水槽等の消防水利が乏しい地域の各消防団に、水深の浅い河川等でも吸水できる低水位ストレーナーを整備し、有効な消火活動ができるようにします。	
継続	消防団員防火装備整備事業	467	消防署	消防団員の防火装備を計画的に整備していきます。	
<b>(3)住宅・住環境</b>					
<b>(ア)住宅取得の支援</b>					



(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
新規	市営住宅改修事業	1,240	建設課	佃団地内の道路を改良します。	
継続	市営住宅長寿命化事業	11,421	建設課	「公営住宅長寿命化計画」に基づき、馬ノ戸団地、松原団地の改修を行います。	
継続	市営住宅修繕事業	3,500	建設課	各市営住宅の修繕を行います。	
<b>(イ)居住環境の充実</b>					
継続	市有老朽化施設解体・撤去事業	5,300	建設課・教育委員会	老朽化して今後使用する予定の無い旧教職員住宅2棟と市営住宅1棟を解体・撤去します。	
継続	塀等解体撤去・設置事業	24,310	総務課・健康・長寿課・建設課・教育委員会	地震等により倒壊の危険があるブロック塀等について、撤去を行い、安全を確保します。	
<b>(4)道 路</b>					
<b>(ア)市道の整備推進</b>					
新規	トンネル長寿命化修繕計画事業	30,002	建設課	老朽化しているトンネルを計画的に修繕することにより、長寿命化を図り、通行の安全を確保します。平成31年度は小川口トンネルの改良を行います。	
新規	道路照明灯改修事業	6,727	建設課	現在設置している道路照明灯(水銀灯)の中でPCB製品を使用しているものの調査を行い、使用されているものの撤去改修を行います。	
増額	社会資本整備道路新設改良事業(社会資本整備総合交付金事業)	122,710	建設課	矢賀里廻り1号線・瀬流荘湯ノ口温泉線・久生屋釜ノ平線の改良を行います。	(81,554)
増額	橋梁長寿命化修繕計画事業(社会資本整備総合交付金事業)	17,002	建設課	市道の重要路線及び集落孤立化の恐れのある橋梁の長寿命化のため、修繕、落橋防止を行います。	(2,000)
増額	道路新設改良事業	29,600	建設課	市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。	(3,600)
継続	側溝・舗装修繕事業(社会資本整備総合交付金事業)	223,010	建設課	生活に密着した道路の側溝や舗装修繕を実施し、安全で安心な生活環境を構築します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続	橋梁定期点検事業(社会資本整備総合交付金事業)	4,001	建設課	市道の橋梁の定期点検を5年に一度実施します。	
継続	道路維持事業	60,000	建設課	市道における狭小な断面の側溝や老朽化した側溝を改修して、排水性を向上させるほか、道路舗装面の打替えやオーバーレイを行って、通行の安全性を確保します。	
継続	道路法面維持事業	1,000	建設課	市道の法面に防草シートを設置します。	
継続	外側線設置事業	2,000	建設課	市道に外側線を設置することで、車両の円滑な通行の確保及び歩行者の安全性を向上します。	
<b>(5)交通体系の整備</b>					
<b>(ア)公共交通の確保</b>					
増額	バス運行対策事業	89,644	市長公室	路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。運行路線 清流・那智黒石の里線、潮風かほる熊野古道線、瀬流荘紀南病院線、熊野古道瀬流荘線、飛鳥・五郷線	(5,463)
増額	生活交通路線維持費補助事業	2,079	市長公室	市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。	(141)
<b>(イ)地域交通体系の構築</b>					
増額	生活交通対策推進事業	29,929	市長公室	市街地、紀和町、海岸部、神川町、育生町における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るため、乗合タクシーを運行します。また、観光客に対する2次交通の確保を図るため、市街地観光施設及び体験施設を周遊する定時定路線型、運賃固定のバス(ワゴン車)を運行します。平成31年度は車両を追加し、増発便への対応を行うとともに既存車両の長寿命化を図ります。	(3,998)
継続	地域公共交通会議運営事業	304	市長公室	市が運行主体となる地域公共交通の実施及び態様の検討のため、地元住民及び関係機関の間で協議を行い、合意形成を図ります。	
<b>3 環境保全の推進</b>					
<b>(1)廃棄物処理</b>					
<b>(ア)廃棄物の減量化</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
新規	ごみ減量化市民行動計画事業	890	環境対策課	ごみの減量化、リサイクルの推進並びにごみ処理経費削減に結びつけるため、 ①高品位小型家電リサイクル事業(新規)(198千円) 携帯電話、パソコン、デジタルカメラ等の高品位の小型家電を分別回収し、資源ごみとしてリサイクルします。 ②生ごみ等減量化推進事業(65千円) 生ごみ減量化のための啓発活動やグッズの配布を行い、家庭から出る生ごみをはじめとする燃やせるごみの減量化を図ります。 ③エコイベント開催事業(81千円) ごみの減量化やリサイクルについて親子で参加できるエコイベントを開催します。 ④ごみ減量等に関する啓発事業(236千円) 6月の環境月間に、パネル展示を文化交流センター等で開催します。また、チラシを作成し、地元紙に折り込み配布するとともに、ごみ集積場所や大型商業施設等において、啓発活動を実施します。 ⑤出前講座開催等事業(310千円) ごみの分別や減量化の方法について、町内会や老人会など市民を対象にした出前講座を開催します。	
継続	電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入費補助事業	660	環境対策課	電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入者に対し補助を行います。	
<b>(イ)廃棄物処理体制の充実</b>					
新規	広域ごみ処理施設整備検討事業	6,130	環境対策課	東紀州5市町による一部事務組合設立準備会を設置し、新たな広域ごみ処理焼却施設の整備を検討していきます。	
新規	不燃物処分場資源化作業所改修事業	4,000	環境対策課	不燃物処分場資源化作業所テントの出入り口にカーテンを設置し、資源ごみの保管や選別作業を適切にできるようにします。	
継続	ごみ焼却処理施設改修事業	90,000	環境対策課	老朽化したごみ焼却施設の延命を図るため、焼却炉や機械設備等の改修を行います。	
<b>(2)環境保全</b>					
<b>(ア)水環境・自然環境の保全</b>					
増額	休廃止鉱山鉱害防止事業	8,409	環境対策課	休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(公益財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。	(135)
継続	合併処理浄化槽設置整備事業費補助事業	29,321	環境対策課	生活雑排水とし尿を処理する合併処理浄化槽の設置に対して補助を行い、河川・海域に対する汚染を軽減します。	
<b>(イ)地球温暖化の防止</b>					
継続	緑のカーテン運動推進事業	254	環境対策課	地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算 より増額す る額
(ウ)環境美化と環境衛生					
継続	熊野市環境美化ボランティア推進事業	45	環境対策課	環境美化の維持を目的として、単独で環境美化を行っているボランティア団体へ清掃用具の提供、サインボードの設置等の助成を行います。	

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
<b>⑤まちづくりの進め方</b>					
<b>1 市民と行政の協働によるまちづくり</b>					
<b>(1)市民参加の推進</b>					
<b>(ア)情報の共有と広報・広聴の充実</b>					
継続	市施策等PR事業	581	市長公室	市が行う施策等を市民に周知することで、市が行っている事業への理解を深めます。	
継続	広報紙内容充実事業	82	市長公室	広報クイズを実施し、市民参加型の広報紙として内容を充実し、市民と行政のコミュニケーションを深めます。	
継続	市民意識調査事業	278	市長公室	市民アンケート調査で市民生活の状況や行政サービスに対する評価、満足度、ニーズを把握し行政運営に生かします。	
<b>(2)地域コミュニティの育成強化</b>					
<b>(ア)地域コミュニティ活動への支援</b>					
増額 (地創)	移住定住促進・空き家活用事業	8,457	市長公室	<p>都市部からの移住、市内への定住を促進するため、</p> <p>①ワンストップ移住相談窓口の運営(3,032千円) 移住者の受入れを推進するため、移住相談窓口や空き家バンクを運営します。</p> <p>②都市部における移住促進PR事業(1,468千円) 「ふるさと回帰フェア」及び「三重県移住フェア」(東京・大阪)等での情報発信や募集説明会を開催します。</p> <p>③お試し住宅の整備(1,083千円) 熊野市で住宅や仕事を探すことを目的としたお試し居住施設を整備し、移住を促進します。</p> <p>④田舎暮らし体験ツアー(162千円) 移住希望者のために田舎暮らし体験ツアーを実施し、移住促進につなげます。</p> <p>⑤空き家改修補助(1,992千円) 移住者が空き家を活用して移住する場合に、改修に係る費用の一部を補助し、移住を促進します。</p> <p>⑥移住促進のための市営住宅活用と補助(720千円) 紀和町では過疎と高齢化が著しいため、市営住宅第3所山団地への定住を希望する人に対して、家賃の半額(上限2万円)を補助し、若者の定住促進につなげます。</p> <p>⑦職人等の移住促進対策 木工職人が工房として活用できる倉庫がついている空き家の情報や支援制度を技術専門学校等の在学生や卒業生など、木工職人を志す方に対して発信し、移住を進めます。</p> <p>⑧Uターン促進事業 Uターンを促進するため、広報くまのへUターンを呼び掛ける記事を掲載するとともに、地元出身者に効果的に情報を届ける方法についても研究します。</p>	(425)

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
継続 (地創)	地域おこし協力隊等事業	21,106	市長公室	各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を配置し、集落機能の強化を図ります。	
継続	あいさつ運動推進事業	20	市民保険課	地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。	
<b>(イ)地域まちづくり協議会の充実</b>					
継続 (地創)	地域まちづくり協働事業	11,190	—	各協議会において策定された総合計画に基づき、平成30年度に引き続き住民と市が協働で実施する「公助」の事業をまちづくり協働事業と位置づけ、補助金を交付するとともに、職員をアドバイザーとして協議会に参加させるなどの支援を行います。(各地域の事業内容等についてはP78～81)	
継続	地域まちづくり協議会活動報告事業	50	市長公室	オール熊野フェスタに合わせて、各地区地域まちづくり協議会の活動を文化交流センターで展示し、活動の認知度の向上、意欲高揚を図ります。	
<b>(ウ)環境整備</b>					
新規	有馬第二公民館修繕事業	1,232	教育委員会	有馬第二公民館のサッシの取替えや床材の張替えを行います。	
<b>(エ)地方創生有識者会議の運営</b>					
継続 (地創)	熊野市地方創生有識者会議運営事業	116	市長公室	熊野市まち・ひと・しごと総合戦略のバージョンアップを図るため、有識者の意見を聞いて、知見を反映させるための会議を開催します。	
<b>(オ)総合支所の改修、出張所の移転</b>					
新規	紀和総合支所防水改修事業	2,140	地域振興課	新しい紀和総合支所の防水改修を行って、長寿命化を図ります。	
新規	飛鳥出張所移転事業	4,252	総務課	旧飛鳥中学校校舎内に仮設置している飛鳥出張所を耐震性がある飛鳥中学校特別教室棟内に移転し、来庁者の安全を確保します。	
<b>2 市民本位の行政運営</b>					
<b>(1)行政サービスの向上と行財政改革の推進</b>					
<b>(ア)市民に信頼され感謝される職員の育成</b>					

(単位:千円)

	事業名	事業費	担当課	事業内容	前年度予算より増額する額
増額	職員研修事業	4,096	総務課	若手職員を対象にコーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。中堅職員を対象にOJT研修を実施し、現場での経験から自分の意志で動き、学び、成長していく人材を育てます。また、年代・役職に応じたステップアップ研修や観光名所現地研修、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、ワンペーパー資料作成研修、ハラスメント研修、法務研修等を行って、能力向上を図ります。	(552)
継続	職員企業等派遣研修事業	757	総務課	職員を民間企業に派遣し、民間企業の厳しさを研修させることにより、職員の意識改革と資質の向上を図ります。	
継続	職員人事交流・派遣事業	159	総務課	県域の広域行政の一翼を担うため、三重地方税管理回収機構に職員1名を派遣します。	
<b>(イ)議員の調査活動能力向上</b>					
継続	議員調査活動能力向上事業	1,680	議会事務局	市議会議員の調査活動能力向上のため、研修や視察等を行います。	
<b>(ウ)情報システムの共同化</b>					
新規	自治体クラウド推進事業	61	総務課	近隣自治体と住民情報システムの共同化(クラウドコンピューター化)について、共同して調査研究を行います。	
<b>(エ)定型業務の効率化</b>					
新規 (地創)	RPA導入検討事業	159	総務課	RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)による定型業務の効率化を目指し、調査研究を行います。	

平成31年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	31年度	31年度 事業の目的	予算額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
		31年度 事業の内容			
荒坂	熊野古道草刈り事業 (H27~)	観光客受け入れ態勢の整備	52	観光スポーツ交流課	52
		熊野古道へのアクセスルートの整備			
	あらさかファーム事業 (H22~)	地場産業による地域の活性化	0	農業振興課	
		エゴマの栽培及び加工品の試験販売			
遊木	災害に強い まちづくり整備事業(新規)	遊木小学校屋内運動場改修事業	2,000	教育委員会	2,000
		風水害の避難所となっている遊木小学校屋内運動場の屋根の改修を行う。			
新鹿	災害に強い まちづくり整備事業 (H19~)(一部新規)	避難誘導灯の整備	767	防災対策推進課	1,414
		避難経路への停電時避難誘導灯の設置			
	新鹿二重堤防(土囊堤防)復旧事業	113	水産・商工振興課		
	土囊堤防の復旧				
あたしか 花と緑のおもてなし事業 (H24~)	町内景観の向上	110	市長公室		
	町内花壇の整備				
	環境美化推進事業 (H30~)	地域環境の改善・環境意識の向上	424	環境対策課	
		環境整備用の資機材倉庫周辺の防草			
波田須	徐福花の郷づくり事業 (H25~)	熊野古道と花の里によるまちづくり	65	市長公室	65
		植栽した花木の維持管理			
磯崎	水源地維持・活用事業 (H26~)	災害時の水源確保	199	防災対策推進課	373
		非常用水源の整備及び清掃活動			
	地域コミュニティ形成事業 (新規)	情報伝達手段の整備等	174	市長公室	
		屋外掲示板の設置			
大泊	環境美化普及事業 (H21~)	地域環境の改善・環境意識の向上	300	環境対策課	300
	EMの普及を目的とした講習会・EM活性液・ぼかし作成講習 各家庭において培養・使用 水質検査の実施				



平成31年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	31年度	31年度 事業の目的	予算額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
		31年度 事業の内容			
木本	災害に強い まちづくり整備事業 (H25～)	災害時の水源確保	0	防災対策推進課	72
		生活用水確保のための調査			
	要害山緑地化整備事業 (H27～)	住民の交流の場と津波避難場所の整備	72	防災対策推進課	
		要害山山頂部分の整備			
	オリンピック選手 顕彰事業 (H19～)	木本町出身のオリンピック選手の顕彰	0	教育委員会	
		有本彦六氏、笠松茂氏に関する資料展示、PR			
井戸	井戸川環境美化事業 (H17～)	地域環境の改善・環境意識の向上	86	環境対策課	105
		井戸川周辺の草刈と清掃活動			
	井戸地区歴史伝承事業 (H26～)	町内の歴史伝承による地域への愛着心の醸成	19	教育委員会	
		町内の歴史に関する講演会及び史跡めぐりの実施			
	井戸川憩いと ふれあいの場提供事業 (H25～)	桜の名所を演出し、地域住民に憩いとふれあいの場の創出	0	観光スポーツ交流課	
		井戸川沿いにおける桜の開花時期に愛桜会が実施するイベントに人員派遣を行う。			
有馬	環境美化推進事業 (H28～)	地域環境の改善・環境意識の向上	58	環境対策課	504
		地域内を流れる河川へのEM活性液投入 池尻川、仲沖川周辺の河川清掃 水質検査の実施			
	山崎運動公園 桜の名所PR事業 (H28～)	桜の名所のライトアップ等	209	観光スポーツ交流課	
		山崎運動公園における桜の手入れ 開花時のライトアップによるPR			
	健康ウォーキング推進事業 (H30～)	健康づくりと地域交流の推進	4	健康・長寿課	
		山崎運動公園および有馬町内でのウォーキング実施			
	地域マップ作成事業 (H26～)	地域マップの作成	233	教育委員会	
		地域の名所・旧跡を記したマップを作成し、地区住民及び観光客に配布する。			

平成31年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	31年度	31年度 事業の目的	予算額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
		31年度 事業の内容			
久生屋	大前池環境美化事業 (H27～)	地域環境の改善・環境意識の向上	370	環境対策課	370
		EMの普及を目的とした講習会の開催 大前池へのEM団子等の投入、周辺清掃活動 水質検査の実施			
金山	環境美化保全活動 推進事業 (H18～)	町内環境美化、生物保全の実施	200	環境対策課	200
		河川環境美化活動 ホタルの里づくり メダカ池周辺の清掃・メダカの保全			
	伝統文化継承事業 (H24～)	無形民俗文化財「金山相撲とり踊り」の後継者育成	0	教育委員会	
		踊りを披露しながら後継者の育成を行う			
育生	とこね広場整備事業 (H17～)一部新規	町内外の人達の交流と憩いの場づくり	2,000	農業振興課	2,000
		石舞台に建物を設置 花壇、立木の手入れと草刈 銀杏・もみじの木の電飾			
	大丹倉遊歩道整備事業 (H27～)	観光客受け入れ態勢の整備	0	観光スポーツ交流課	
		尾川 - 大丹倉間の遊歩道整備			
神川	旧神上中学校 魅力向上事業(H29～)	地域のコミュニティ広場の整備	2,000	教育委員会	2,000
		桜のライトアップによる魅力向上			
五郷	五郷花のある郷事業 (H29～)	町内景観の向上	22	市長公室	429
		町内花壇の整備			
	新地場産業興し研究事業 (H19～)	新たな地場産業による地域の活性化	0	農業振興課	
		お茶、果実等の栽培、維持管理 安定供給を目指した試験販売			
五郷ふれあい公園整備事業 (新規)	五郷ふれあい公園の整備	346	総務課		
	ゲートボール場の囲いの整備 五郷ふれあい公園の看板設置				
公共施設清掃活動事業 (新規)	公共施設の清掃活動	61	建設課		
	公園や道路の清掃活動を行う。				

平成31年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	31年度	31年度 事業の目的	予算額 (千円)	担当課	地区小計 (千円)
		31年度 事業の内容			
飛鳥	小又地区 自然活用活性化事業 (H24～)	自然を活用した地域おこし	594	環境対策課	757
		小又地区における田んぼアート及びビオトープ「めだかの学校」を活用した地域活性化事業			
飛鳥	高齢者生きがい対策事業 (新規)	グランドゴルフを活用した高齢者生きがい対策	163	健康・長寿課	
		台風等により流出した土の補充			
上川	高齢者支援・ 地域景観保護事業 (H18～)	快適な生活環境と地域の美しい景観の整備	146	環境対策課	146
		高齢者の住宅周辺の除草及び樹木の伐採 道路や公共施設周辺の樹木の伐採			
入鹿	紀州鉦山選鉦場跡地 保存事業 (H25～)	観光資源周辺の環境美化	14	観光スポーツ交流課	293
		鉦山選鉦場跡地を観光資源として利用するための環境保全作業 ライトアップを行い、市内外に選鉦場跡地のPRを行う			
	入鹿地区景観整備事業 (H27～)一部新規	地域の景観整備	209	環境対策課	
	入鹿地区今昔地域暮らし 画像等保存事業 (H27～)	地域の暮らしや文化に関する写真資料の保存及び展示	70	教育委員会	
		入鹿地区における過去の暮らしや文化を写した写真を公募 展示資料を作成し展示する			
西山	赤木城史跡と地域のイメージ アップ事業 (H19～)	赤木城史跡周辺の景観保全とPR	110	観光スポーツ交流課	110
		景観を損ねている雑木の伐採、除草及び史跡周辺整備 赤木城跡のライトアップによるPR 赤木城周辺に「クマノザクラ」を植栽			
合 計			11,190	37事業	11,190